

景況などに関する会員アンケート

調査結果

平成30年4月

北陸経済連合会

目次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. 設備投資	7
IV. その他（採用活動について）	9
（外国人の活用状況について）	11
参考（アンケート調査結果）	13
I. 景気動向	13
II. 業績	16
III. 設備投資	19
IV. その他（採用活動について）	23
（外国人の活用状況について）	28

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を迅速かつ的確に把握し、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で39回目]

以下、その結果を報告する。

○調査時期

平成30年3月1日～3月14日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率50.8% (送付企業301社、回収数153社)

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	58	37.9%
石川県	46	30.1%
福井県	17	11.1%
北陸三県以外	32	20.9%
計	153	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	56	36.6%
1億円～10億円未満	37	24.2%
10億円以上	60	39.2%
計	153	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	2	1.3%
	繊維工業	3	2.0%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.7%
	出版・印刷・同関連業	4	2.6%
	化学工業	5	3.3%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	4	2.6%
	金属製品製造業	8	5.2%
	機械工業	9	5.9%
	その他製造業	14	9.2%
	小計	50	32.7%
非 製 造 業	卸売業	15	9.8%
	小売業	3	2.0%
	建設業	23	15.0%
	電気・ガス・水道業	3	2.0%
	運輸業	10	6.5%
	農・林・漁業	0	0.0%
	鉱業	0	0.0%
	金融業・保険業	17	11.1%
	不動産	2	1.3%
	サービス業	18	11.8%
	その他の非製造業	12	7.8%
小計	103	67.3%	
計	153	100.0%	

2. アンケート調査結果概要

[総 括]

北陸の景気動向

…足もとでは回復基調にあることがうかがえ、
来期についても、改善を見込んでいる

- 現在の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が前回調査に比べ増加（前回71.3%→今回77.8%）している。
- 29年度下期の景気について、景気判断BSI（「良くなった」と答えた割合から「悪くなった」を引いた値）でみると、44.5（前回34.7）と改善している。
また、来期（30年度上期）の見通しについては30.0と今期（44.5）に引き続き、改善を見込む企業が上回っている。

業績

…足もとでは改善傾向にあり、
来期についても、改善を見込んでいる

- 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が前回調査に比べ増加（前回41.2%→今回45.1%）している。
- 29年度下期の業績について、業績判断BSI（「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値）でみると、今期は21.0と、前回調査（16.7）から改善している。
また、規模別では、大企業が31.6（前回13.2）、中堅企業が8.1（前回2.5）、中小企業が17.9（前回30.0）となり、特に大企業において、業績が改善したとする企業が増加している。
業績判断BSIの来期（30年度上期）の見通しについては17.7と今期（21.0）に引き続き、改善を見込む企業が上回っている。

設備投資

…現状の設備水準は適正とする企業が多数で、30年度の
設備投資見通しは引き続き増加傾向

- 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が76.5%で、前回調査（79.4%）同様、大半を占めた。また、「不足」、「非常に不足」とする企業（16.4%）が「非常に過剰」、「過剰」とする企業（5.2%）を上回った。
- 設備投資の前年対比については、29年度は「増加した」と答えた企業（34.6%）が「減少した」と答えた企業（9.2%）を上回った。30年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（31.4%）が「減少する」と答えた企業（12.4%）を上回った。

その他

1. 採用活動について

- 2017年度採用活動（2018年4月新卒者等）では81.7%の企業が採用しており、構成としては製造業では大学院卒、学部卒が同程度、非製造業では学部卒が多く採用されている。
- 採用活動の充足率については、全産業では61.8%（前回調査63.0%）の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると大企業（75.0%）に比べ、中堅企業（59.3%）、中小企業（50.0%）と低下する。

2. 外国人の活用状況について

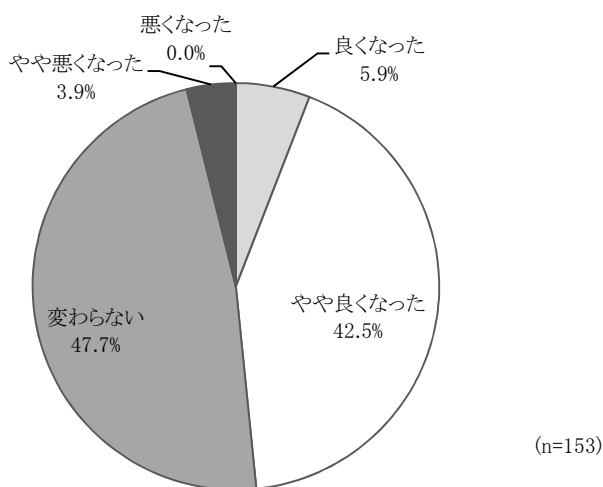
- 外国人従業員を1名以上雇用している企業は、全産業では30.8%であった。業種別で見ると、製造業で比率が高く（製造業：46.0%、非製造業：23.4%）、規模別では大企業（48.3%）が最も高く、中堅企業が24.3%、中小企業が16.1%となっている。
- 全従業員に占める外国人従業員の比率については、1%未満と答えた企業が全産業で64.7%を占めた。
- 外国人従業員の出身国については、中国が74.5%と最も多く、韓国（23.4%）、ベトナム（21.3%）、台湾（19.1%）、フィリピン（12.8%）と続いている。
- 外国人従業員の主な在留資格については、「就労目的で在留が認められる者」が53.2%と最も多く、「身分に基づき在留する者」（36.2%）、「技能実習」（21.3%）と続いている。

I. 景気動向

足もとでは回復基調にあることがうかがえ、
来期についても、改善を見込んでいる

- ・ 29年度下期の景気動向については、前期（29年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が48.4%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の3.9%を大きく上回っている。（図表1）
- ・ 29年度下期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）では44.5となり、前回調査の現状（29年度上期）判断の34.7から増加している。業種別にみると、製造業が50.0（前回47.0）、非製造業が41.7（前回29.2）と、どちらも改善した。
- ・ 来期（30年度上期）の見通しについては30.0と今期（44.5）からは悪化するが、改善を見込む企業が上回っている。（図表2）
- ・ 29年度下期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が77.8%で、前回調査（71.3%）および、「底這い」「下降」と見る企業（15.7%）を上回っている。（図表3）
- ・ 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねたところ、「設備投資の回復」が61.3%と最も多く、「企業収益の回復」が59.7%、「個人消費の回復」が22.7%で続いている。（図表4）
- ・ 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、30年度上期が8.7%、下期が8.7%、31年度上期が21.7%、31年度下期以降とみる企業が26.1%となっている。（図表5）

図表1. 平成29年度下期の景気（前期比）



図表2. 平成29年下期の景気判断と見通し

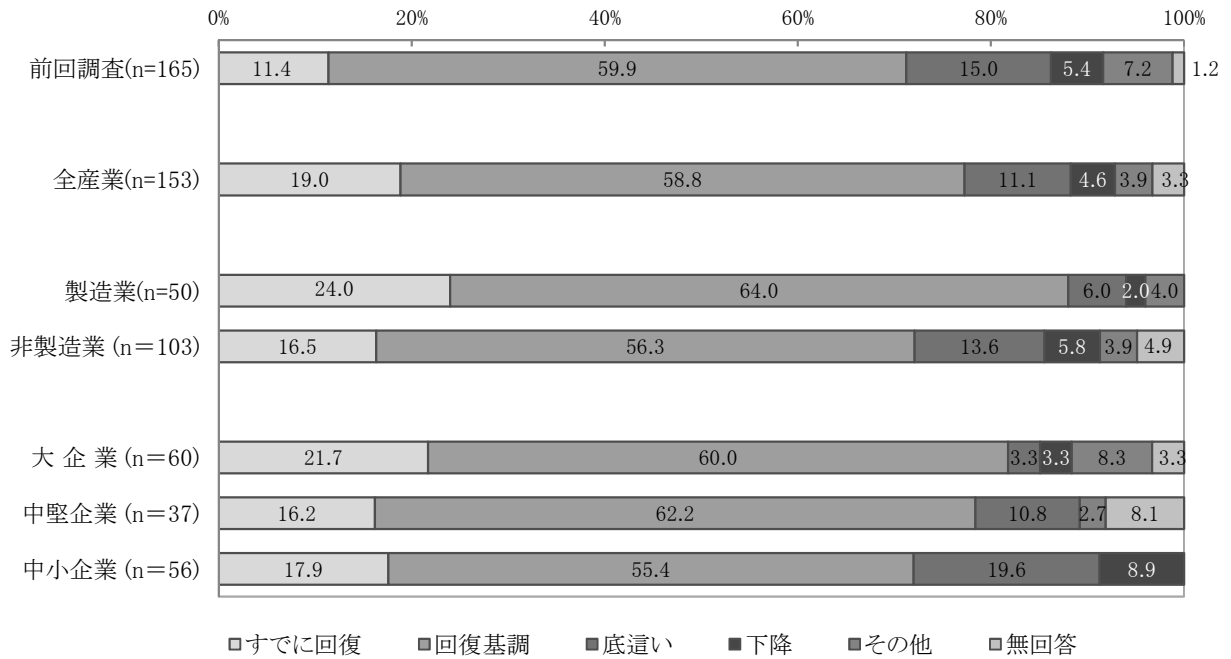
※景気判断BSI

（「良くなった」「やや良くなった」） - （「悪くなった」「やや悪くなった」）社数構成比 単位：%ポイント

	前回調査		今回調査			
	29年4～9月（前期）		29年10～3月（今期）		30年4～9月（見通し）	
	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅
全産業	34.7		44.5	9.8	30.0	▲ 14.5
業種	製造業	47.0	50.0	3.0	44.0	▲ 6.0
	非製造業	29.2	41.7	12.5	23.3	▲ 18.4
規模	大企業	39.7	50.0	10.3	46.7	▲ 3.3
	中堅企業	25.7	37.8	12.1	18.9	▲ 18.9
	中小企業	34.9	42.9	8.0	19.7	▲ 23.2

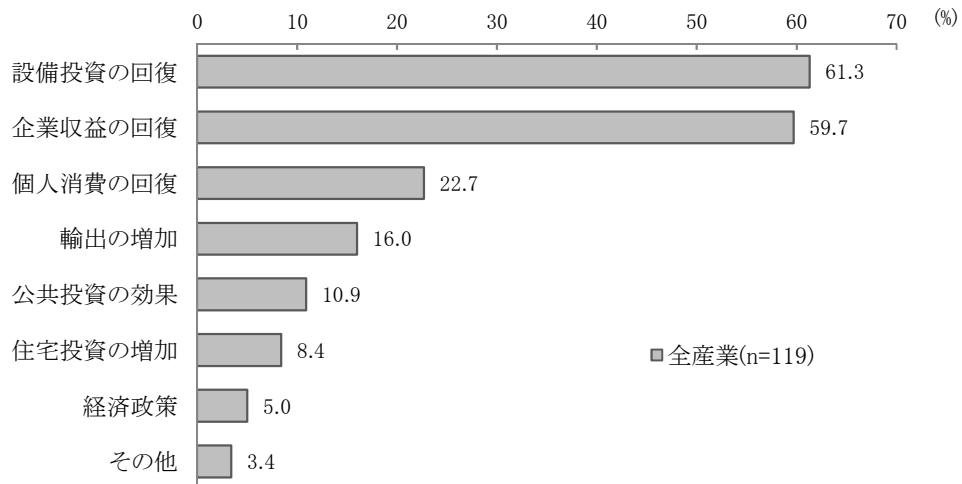
注) 29年10～3月(今期)の変化幅は29年4～9月(前期)との対比、30年4～9月(見通し)の変化幅は29年10～3月(今期)との対比。

図表3. 平成29年度下期の景気基調



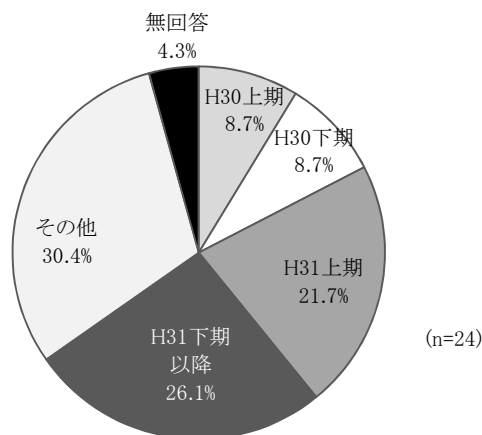
図表4. 平成29年度下期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



Ⅱ. 業績

足もとでは改善傾向にあり、
来期についても、改善を見込んでいる

- ・ 29年度下期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）の現状判断は、21.0となり、前回調査（29年度上期）の16.7から増加している。
- ・ 業種別で見ると、非製造業が19.4（前回6.9）と増加している一方、製造業が24.0（前回39.2）と減少している。
規模別では、大企業が31.6（前回13.2）、中堅企業が8.1（前回2.5）、中小企業が17.9（前回30.0）となり、前回調査（29年度上期）と比べ、大企業において業績が改善したとする企業が増加した一方、中小企業は減少している。（図表6）
- ・ 来期（30年度上期）の見通しについては17.7と今期（21.0）に引き続き改善を見込む企業が上回っている。（図表6）
- ・ 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が45.1%（前回41.3%）、「悪い」「大変悪い」とみている企業が10.5%（前回13.2%）となっており、引き続き改善傾向がうかがえる。（図表7）
- ・ 経営上の課題では、「人材養成・確保」（82.4%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.2%）となり、「新分野への進出」（34.6%）、「新商品の開発」（31.4%）がこれに続いている。（図表8）

図表6. 平成29年度下期の業績判断と見通し

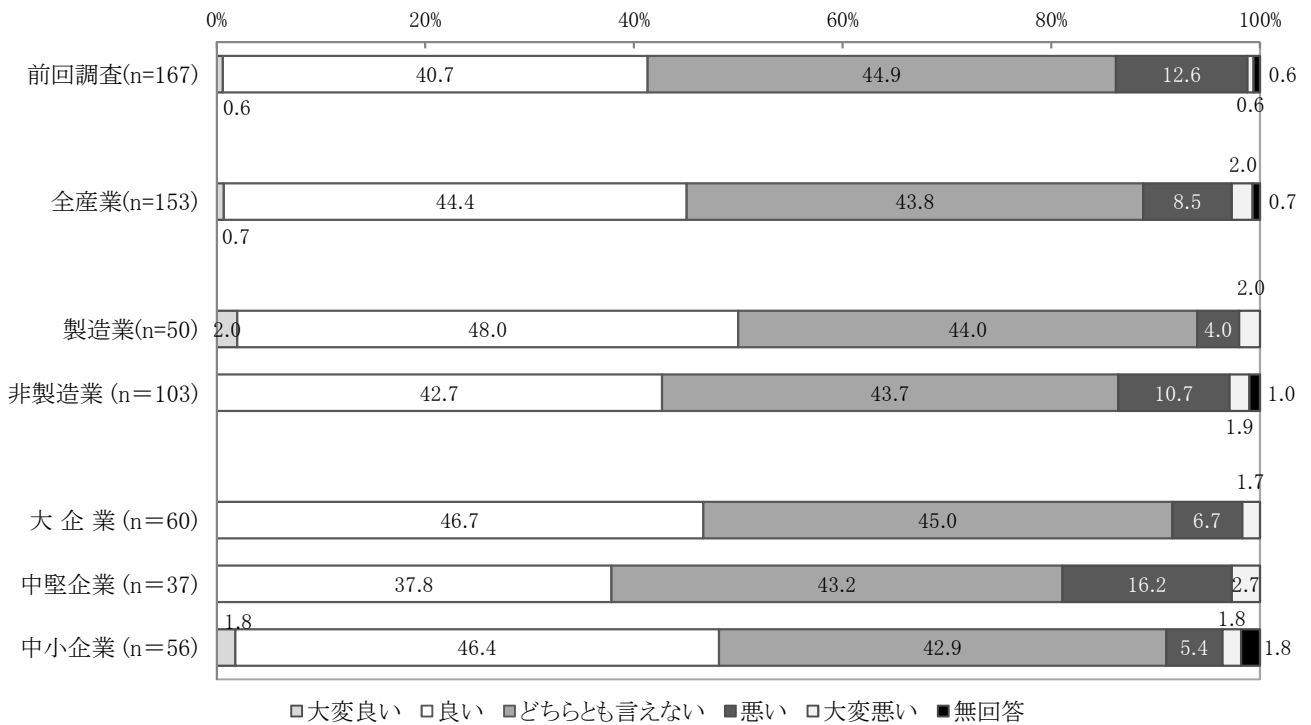
※業績判断BSI

（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比 単位：%ポイント

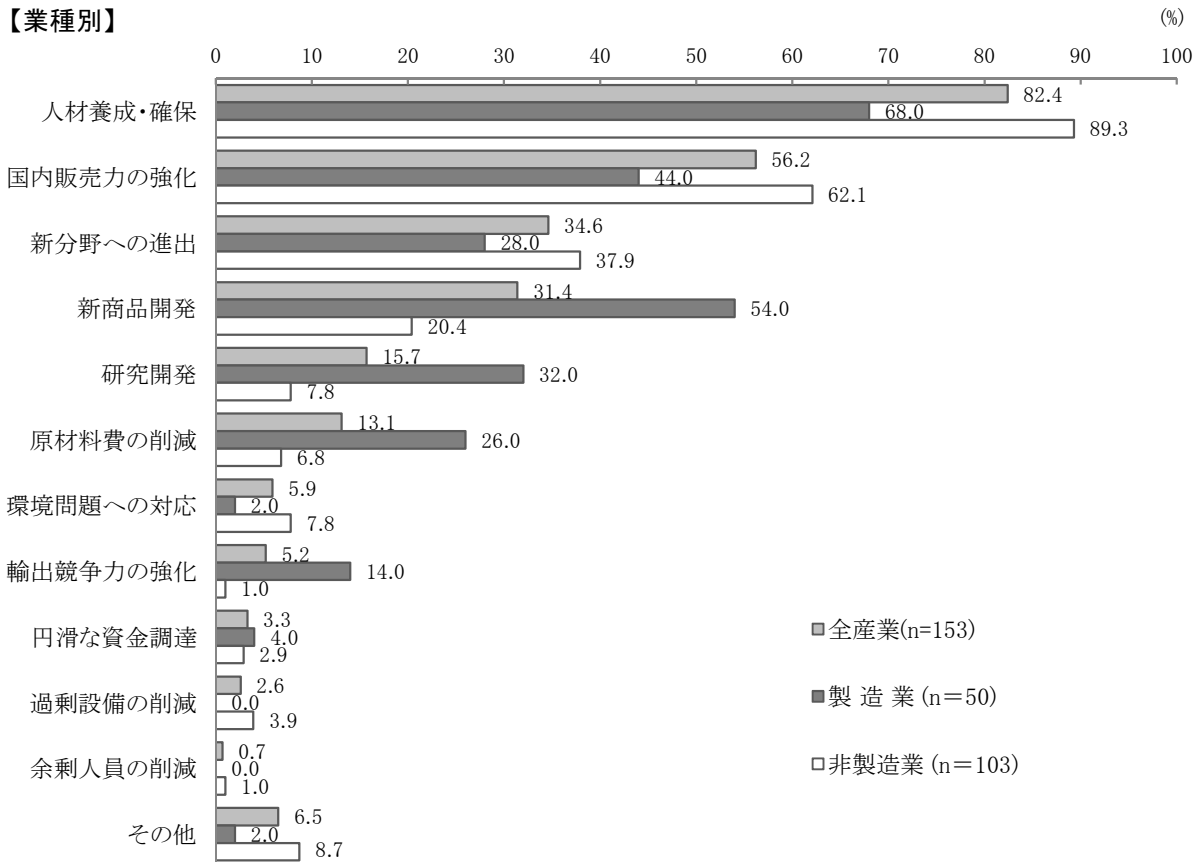
		前回調査		今回調査			
		29年4～9月(前期)		29年10～3月(今期)		30年4～9月(見通し)	
		業績判断BSI	業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅	
全産業		16.7	21.0	4.3	17.7	▲ 3.3	
業種	製造業	39.2	24.0	▲ 15.2	32.0	8.0	
	非製造業	6.9	19.4	12.5	10.7	▲ 8.7	
規模	大企業	13.2	31.6	18.4	26.7	▲ 4.9	
	中堅企業	2.5	8.1	5.6	10.8	2.7	
	中小企業	30.0	17.9	▲ 12.1	12.6	▲ 5.3	

注) 29年10～3月(今期)の変化幅は29年4～9月(前期)との対比、30年4～9月(見通し)の変化幅は29年10～3月(今期)との対比。

図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

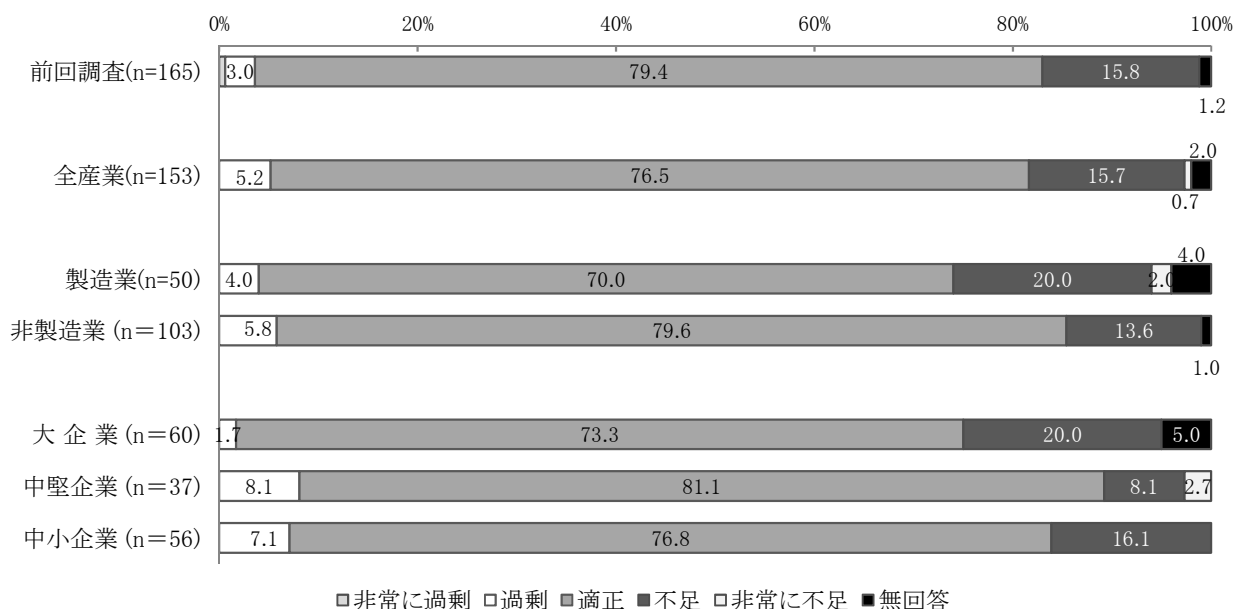


Ⅲ. 設備投資

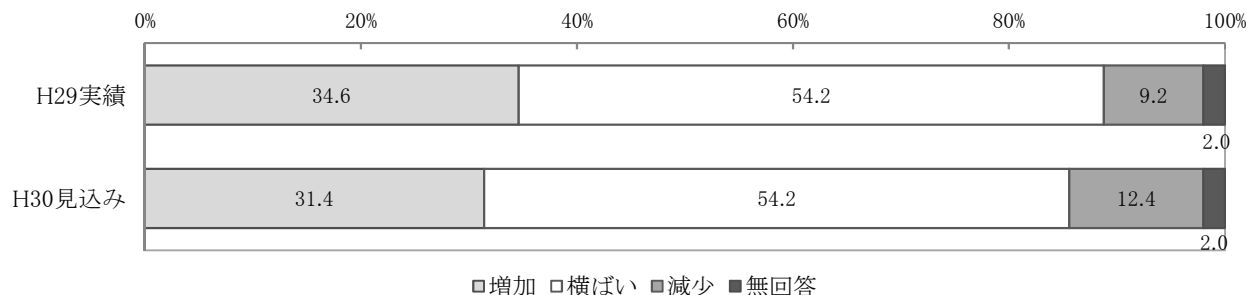
現状の設備水準は適正とする企業が多数で、30年度の設備投資見通しは引き続き増加傾向

- ・ 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が76.5%で、前回調査（79.4%）同様、大半を占めた。また、「不足」「非常に不足」とする企業（16.4%）が「非常に過剰」「過剰」とする企業（5.2%）を上回った。（図表9）
- ・ 設備投資の前年対比については、29年度は「増加した」と答えた企業（34.6%）が「減少した」と答えた企業（9.2%）を上回った。30年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（31.4%）が「減少する」と答えた企業（12.4%）を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。（図表10）
- ・ 30年度の設備投資が増加するとした理由を尋ねたところ、「設備の維持・更新が必要」（75.0%）が最も多く、「情報技術(IT)投資が必要」（31.3%）、「国内需要が増加する見通し」（22.9%）、「新規事業への進出」（16.7%）が続いている。（図表11）
- ・ 一方、30年度の設備投資が減少するとした理由は、「前年度が高水準（反動減）」が63.2%と大半を占めた。（図表12）

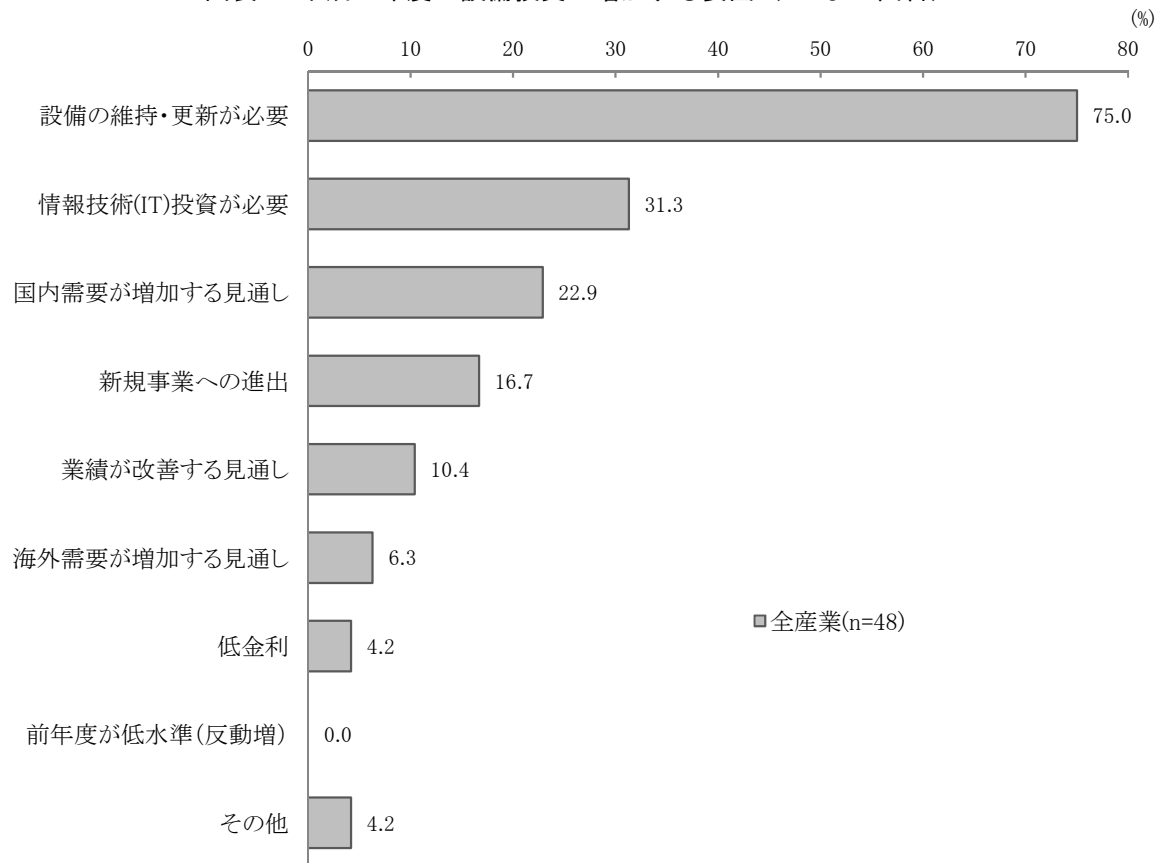
図表9. 現在の設備水準



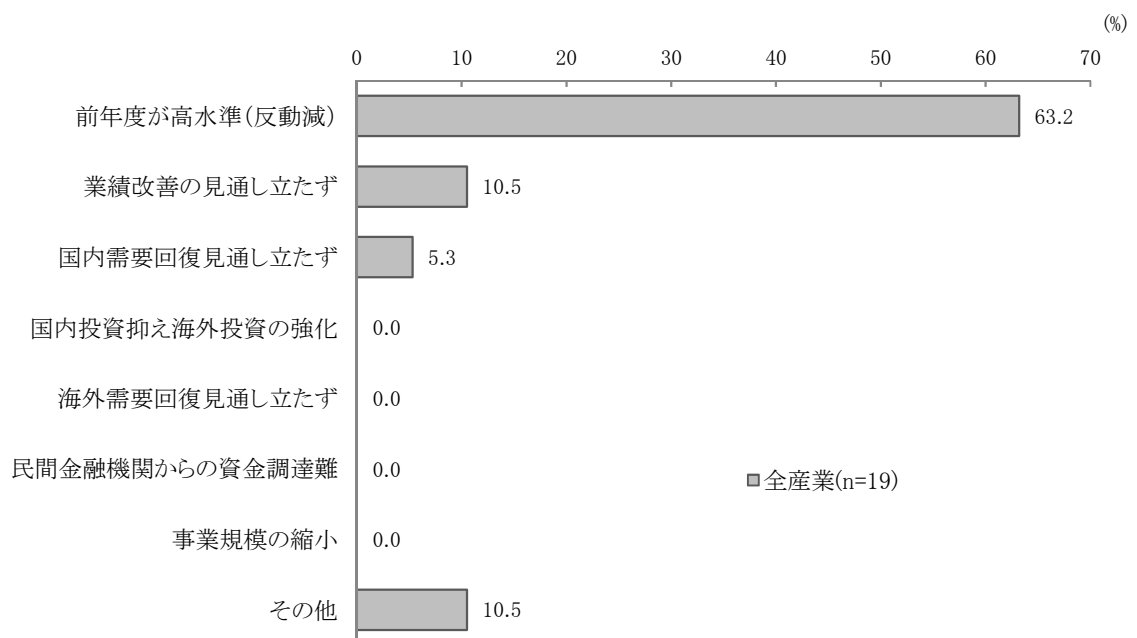
図表10. 設備投資（前年度比）



図表11. 平成30年度の設備投資が増加する要因（3つまで回答）



図表12. 平成30年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）

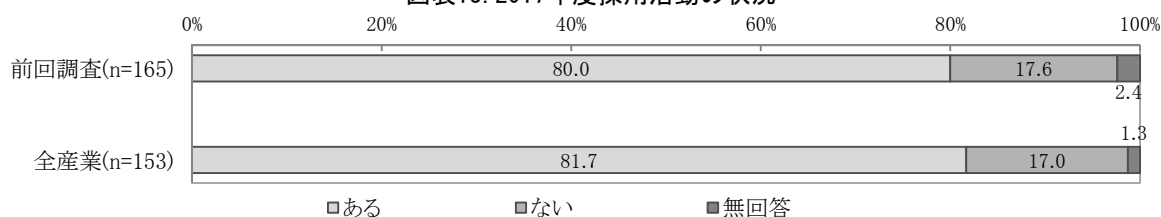


IV. その他

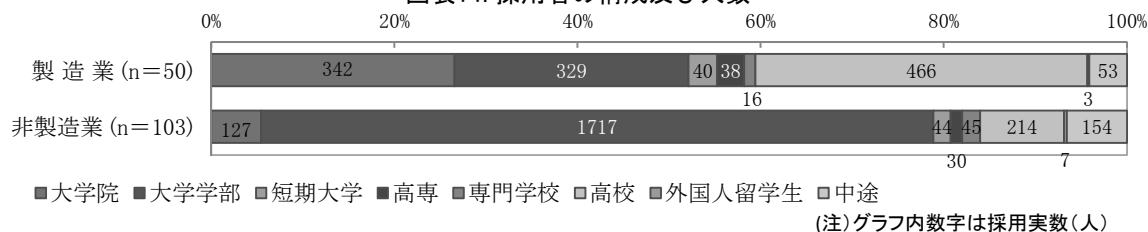
1. 採用活動について

- ・ 2017年度採用活動（2018年4月新卒者等）では81.7%が採用しており、採用者の構成としては製造業では大学院卒、学部卒が同程度、非製造業では学部卒が多く採用されている。（図表13.14）
- ・ 採用活動の充足率については、全産業では61.8%（前回調査63.0%）の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると大企業（75.0%）に比べ、中堅企業（59.3%）、中小企業（50.0%）と低下する。（図表15）
- ・ 採用予定における北陸地域出身者比率については、全産業では47.1%（前回調査48.5%）の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると中小企業（55.6%）、中堅企業（54.2%）に比べ、大企業では35.3%と低下する。（図表16）北陸地域大学出身者比率についても同様の傾向が見られ、90%以上と答えた企業は全産業では26.1%（前回調査25.3%）であった。（図表17）

図表13. 2017年度採用活動の状況



図表14. 採用者の構成及び人数

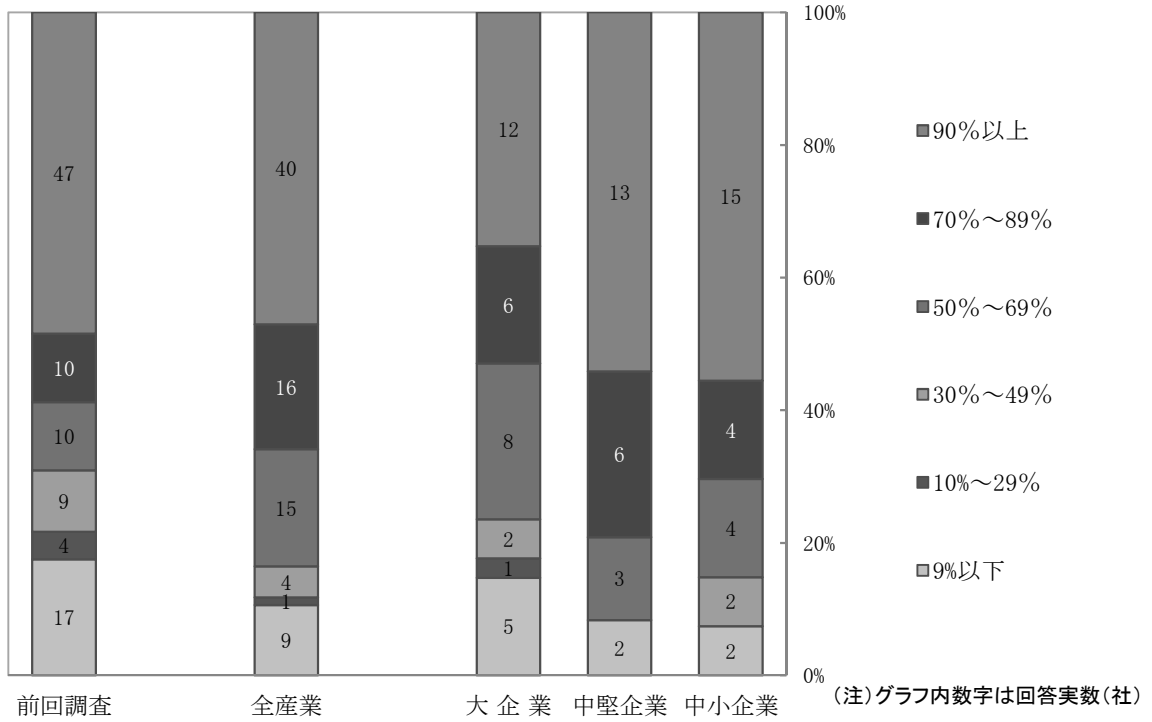


図表15. 充足率

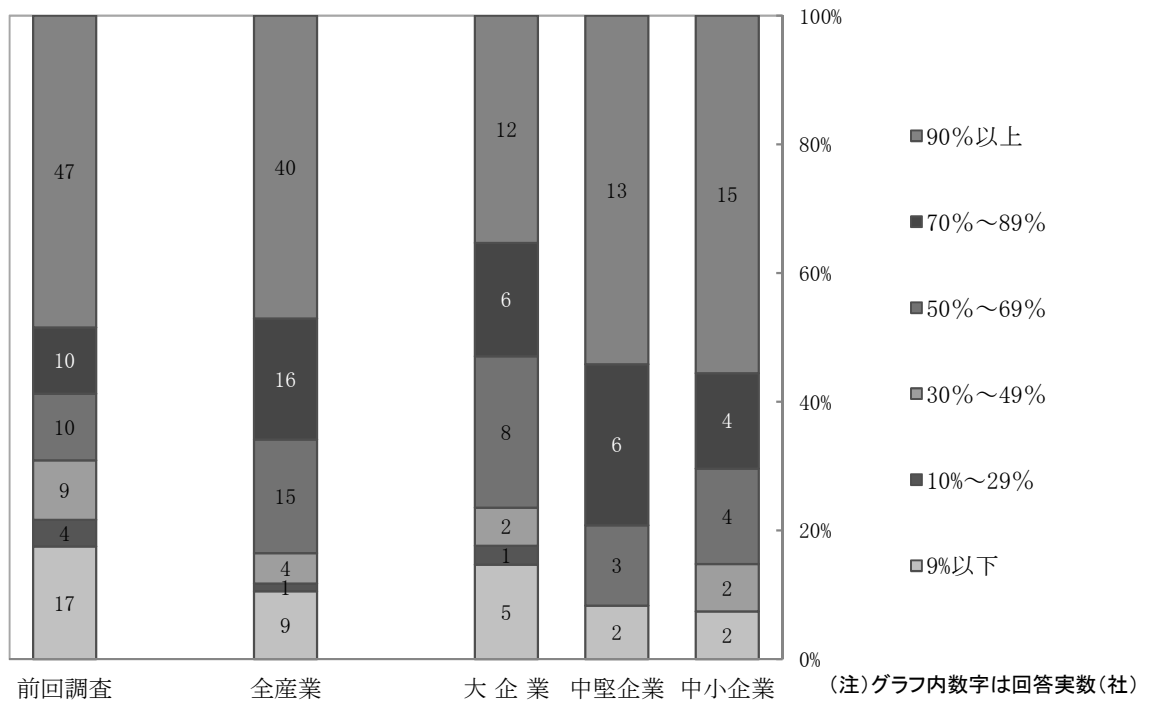
	9%以下	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%超
前回調査(n=119)	0.8	0.8	2.6	0.8	3.4	5.9	6.7	5.1	10.9	63.0
全産業(n=110)	10.9	0.0	0.9	1.8	1.8	2.7	6.4	4.6	9.1	61.8
製造業(n=40)	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	7.5	62.5
非製造業(n=70)	8.6	0.0	0.0	1.4	1.4	2.9	8.6	5.7	10.0	61.4
大企業(n=40)	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5	2.5	7.5	75.0
中堅企業(n=32)	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1	12.5	6.3	6.3	59.3
中小企業(n=38)	18.4	0.0	0.0	5.3	2.6	0.0	5.3	5.3	13.1	50.0

単位: %

図表16. 北陸出身者比率



図表17. 北陸地域大学出身者比率

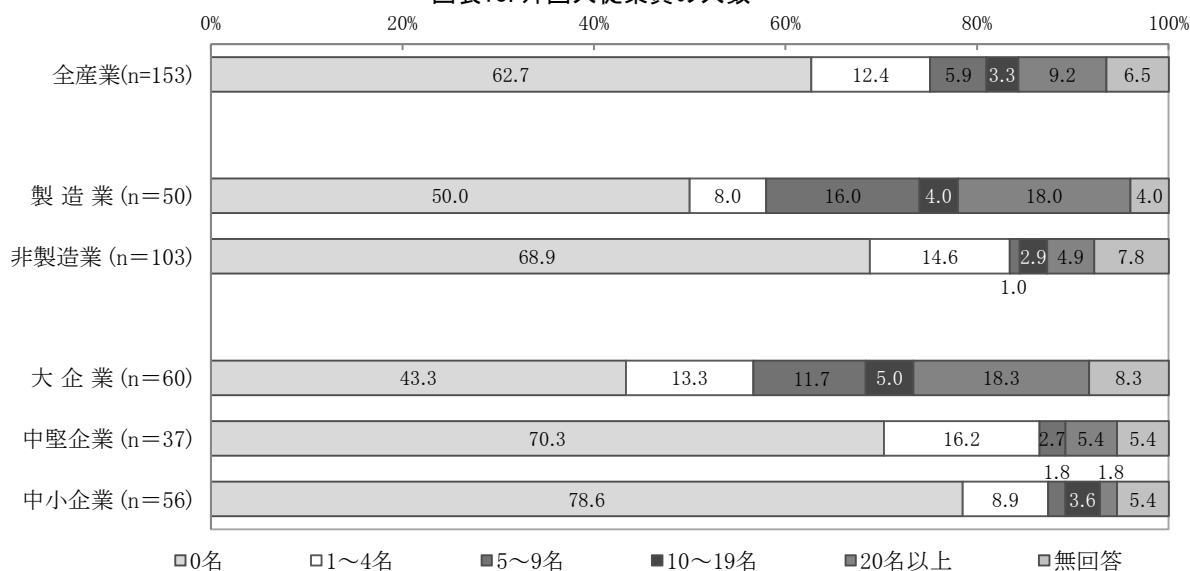


IV. その他

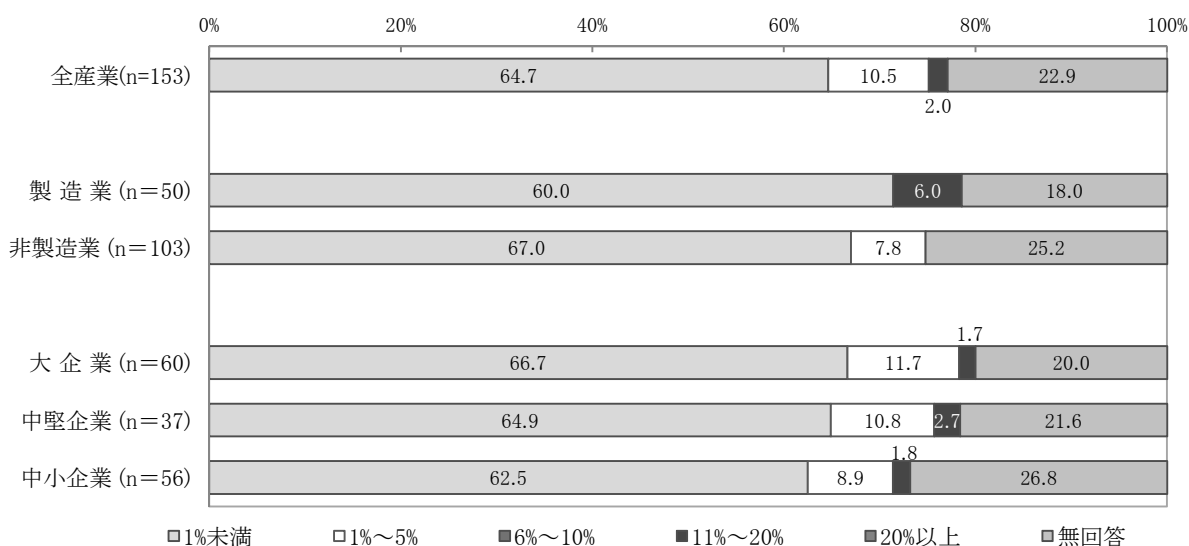
2. 外国人の活用状況について

- 外国人従業員を1名以上雇用している企業は、全産業では30.8%であった。業種別でみると、製造業で比率が高く（製造業：46.0%、非製造業：23.4%）、規模別では大企業（48.3%）が最も高く、中堅企業が24.3%、中小企業が16.1%となっている。（図表18）
- 全従業員に占める外国人従業員の比率については、1%未満と答えた企業が6割（全産業：64.7%）を占めた。（図表19）
- 外国人従業員の出身国については、中国が74.5%と最も多く、韓国（23.4%）、ベトナム（21.3%）、台湾（19.1%）、フィリピン（12.8%）と続いている。（図表20）
- 外国人従業員の主な在留資格については、「就労目的で在留が認められる者」が53.2%と最も多く、「身分に基づき在留する者」（36.2%）、「技能実習」（21.3%）と続いている。（図表21）規模別に見ると、大企業では「就労目的で在留が認められる者」と答えた企業が多く（65.5%）、中小企業では「技能実習」と答えた企業が多い（44.4%）。（図表21）

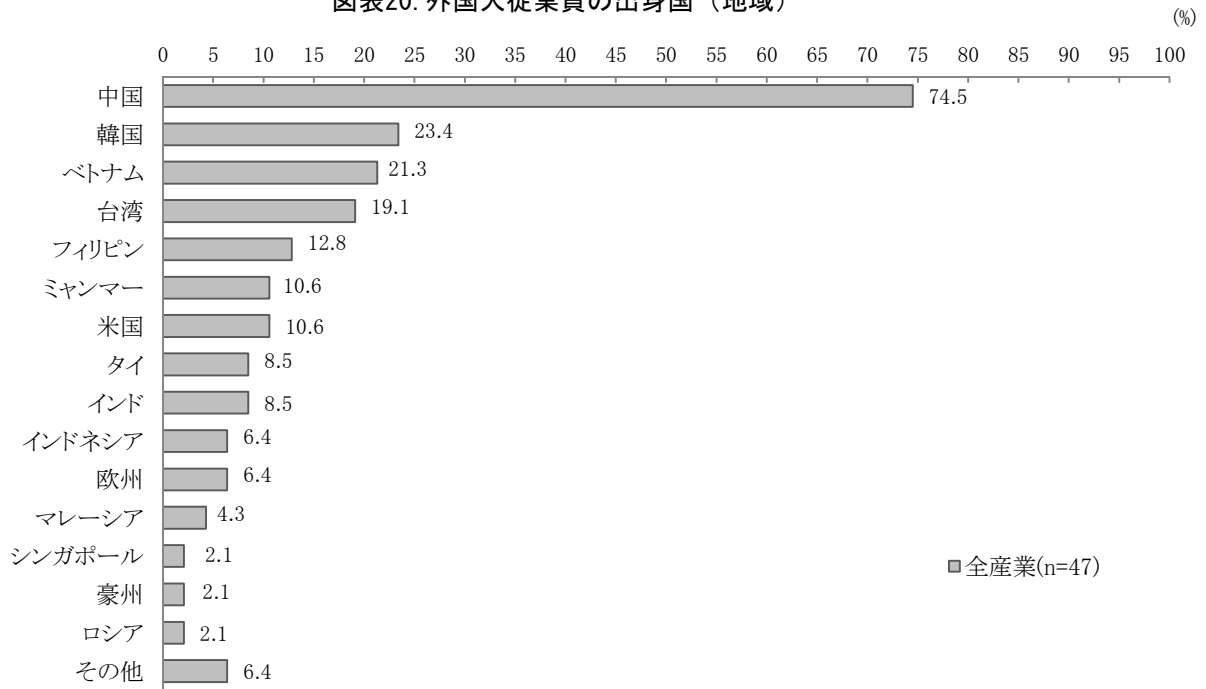
図表18. 外国人従業員の人数



図表19. 全従業員に占める外国人従業員の比率

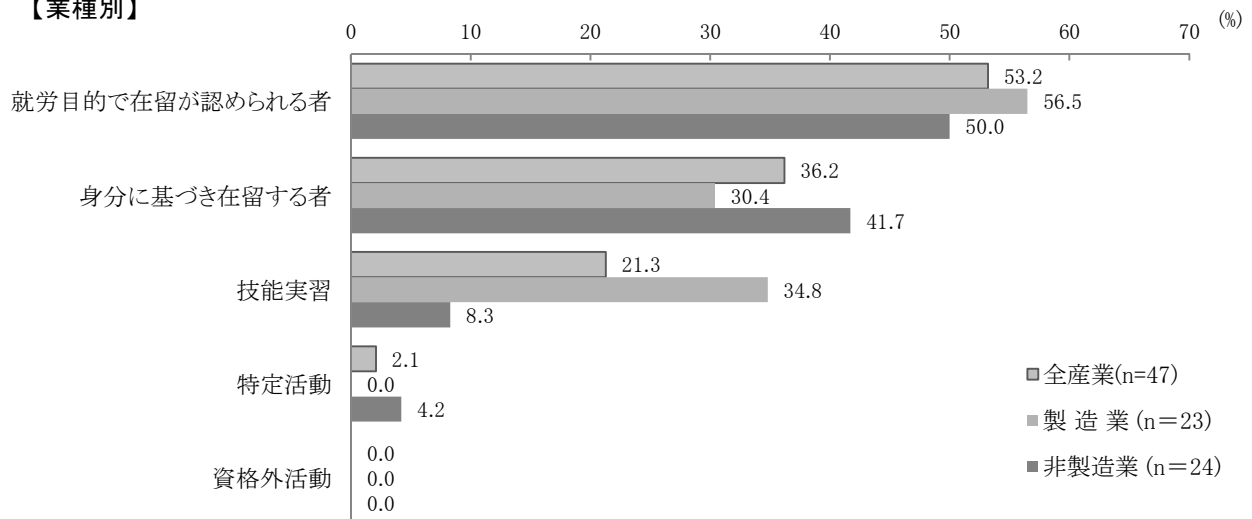


図表20. 外国人従業員の出身国（地域）

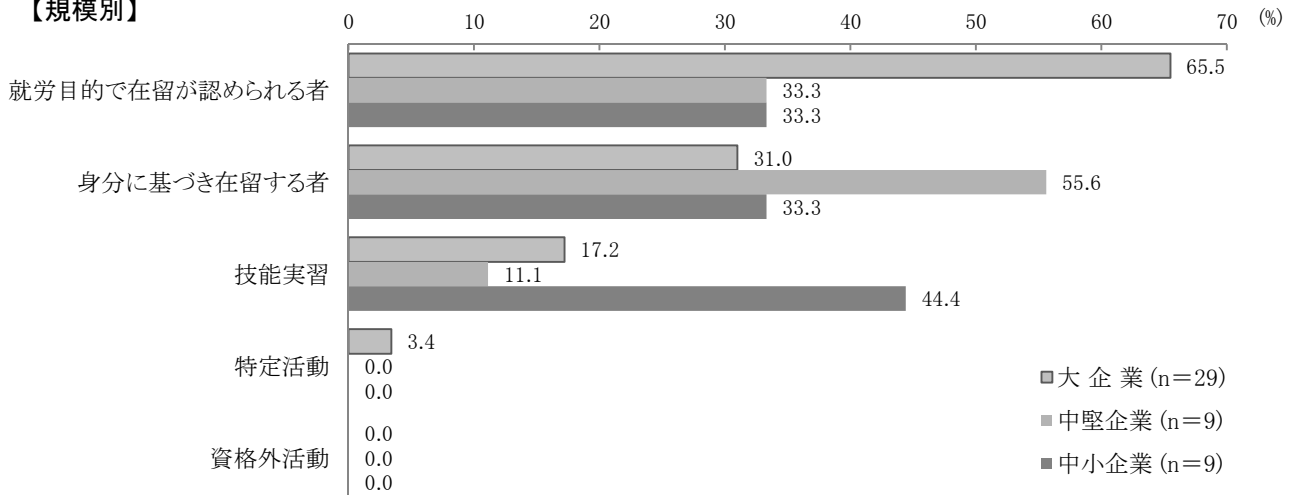


図表21. 外国人従業員の主な在留資格

【業種別】



【規模別】



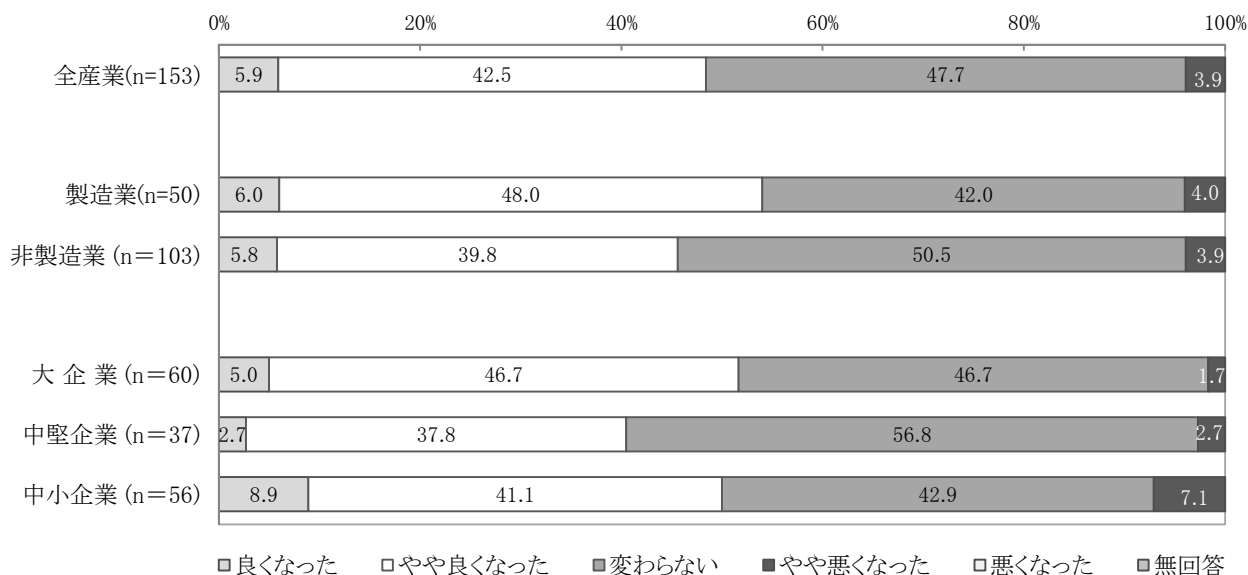
参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

Q.1

北陸地域の平成29年度下期(10月～3月)の景気は平成29年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

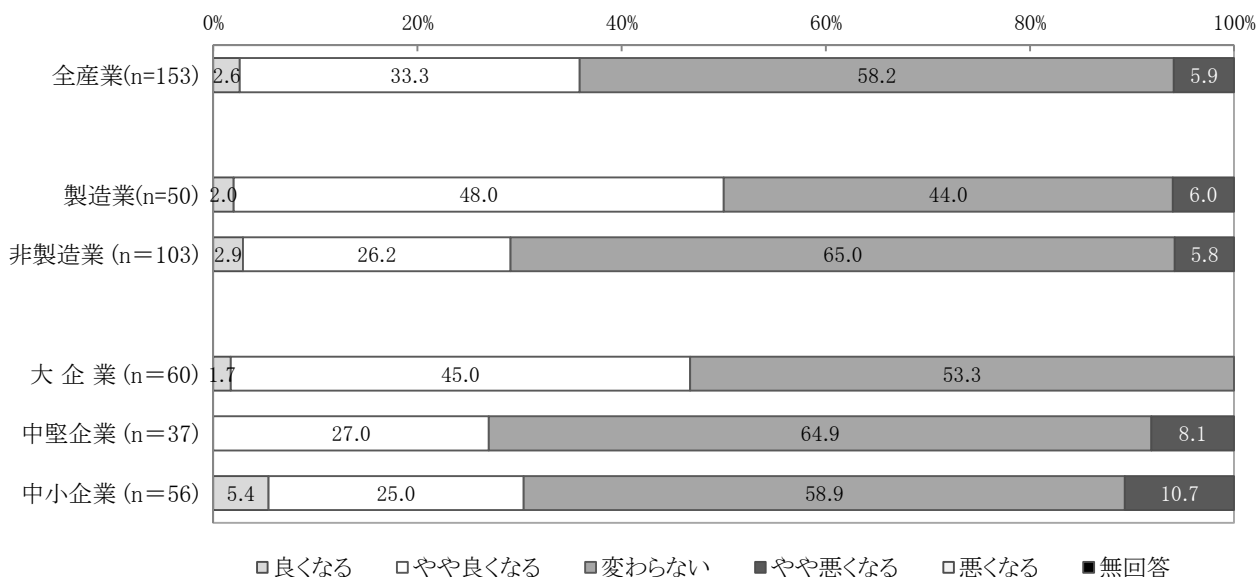
平成29年度下期の景気(前期比)



Q.2

北陸地域の平成30年度上期(4月～9月)の景気は平成29年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

平成29年度上期の景気(見通し)

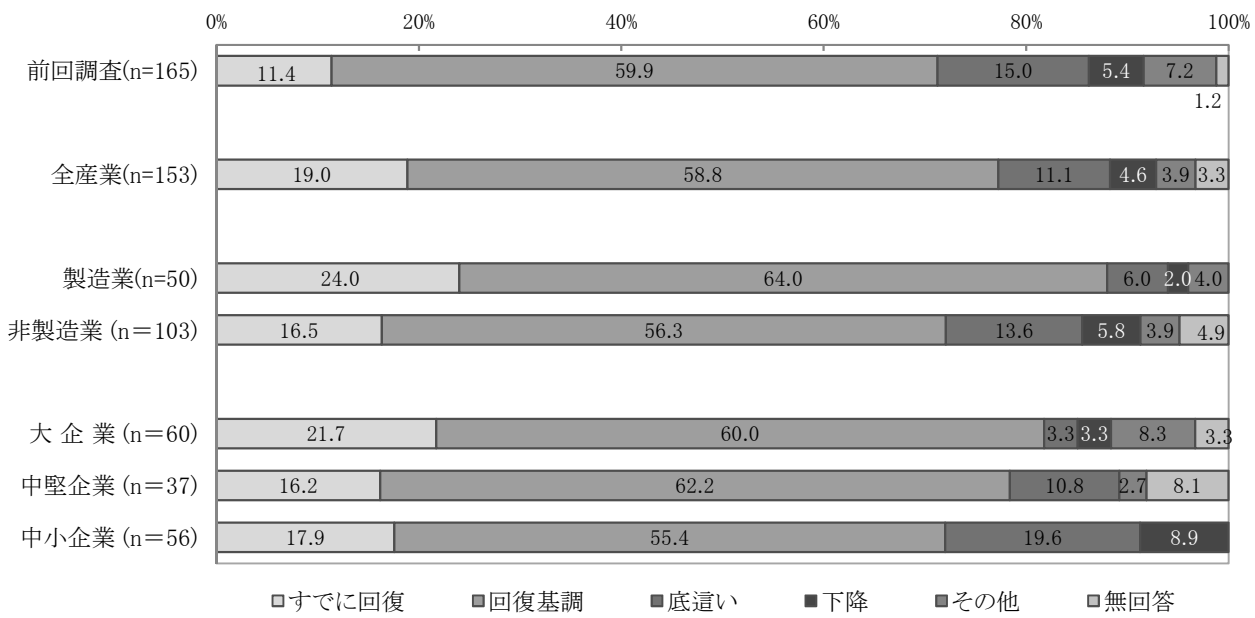


I 景気動向

Q.3

平成29年度下期(10月～3月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。

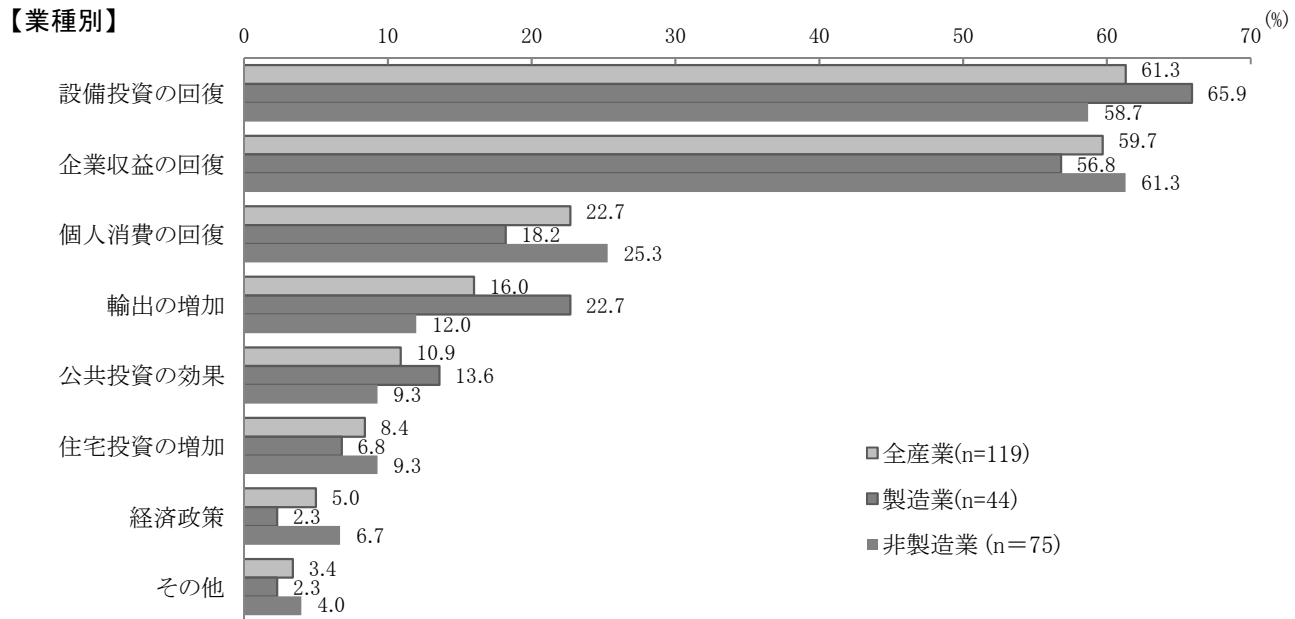
平成29年度下期の景気基調



Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成29年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)

平成29年度下期の景気が良い理由(複数回答)



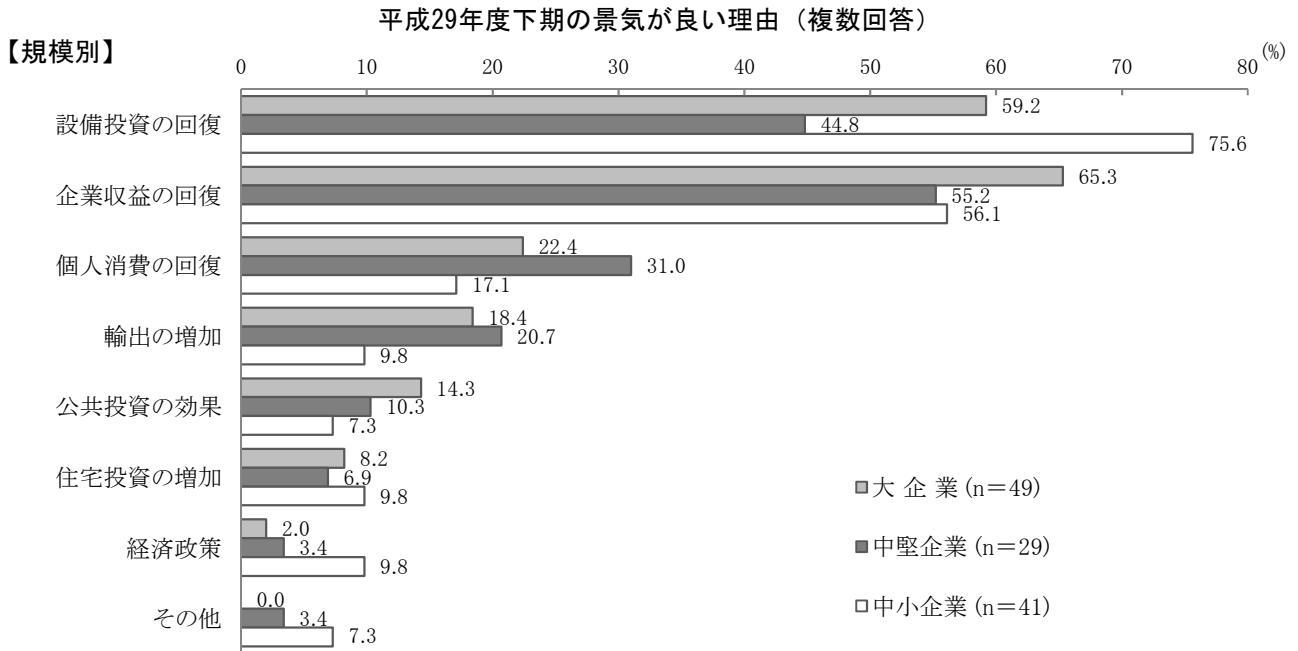
- ◎経済政策の具体的な回答
- ・北陸新幹線敦賀延伸に係る工事
 - ・北陸新幹線
 - ・アベノミクス

- ◎その他の具体的な回答
- ・北陸新幹線敦賀延伸
 - ・北陸新幹線開通
 - ・オリンピック
 - ・製造業を中心に好調も小売まで好転するには時間がかかる

I 景気動向

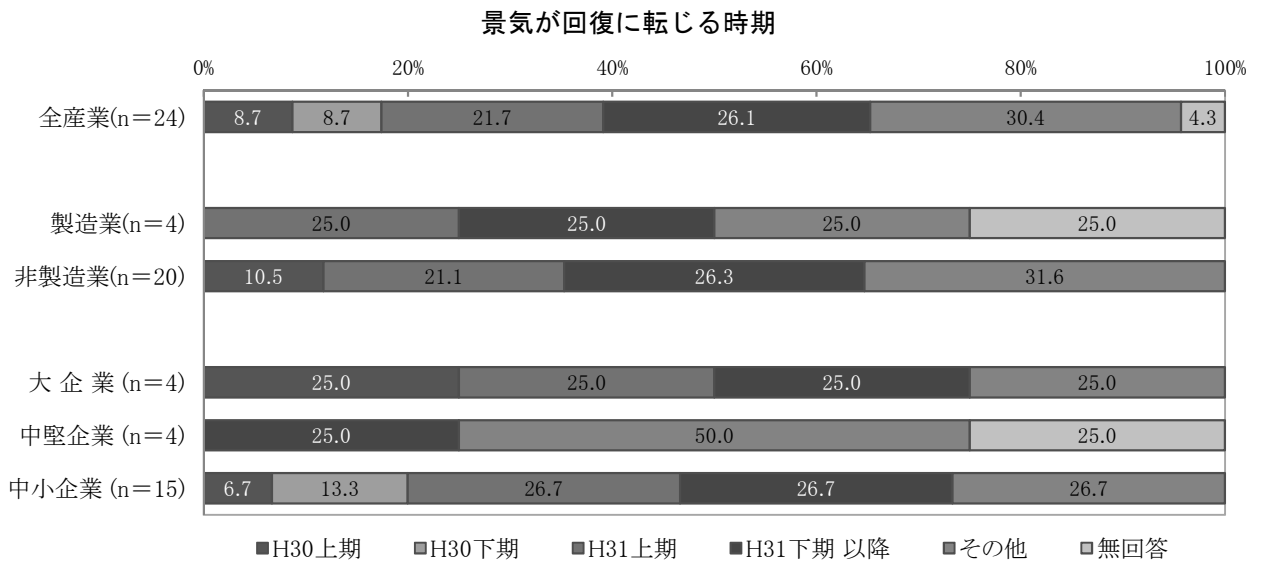
Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
 平成29年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。



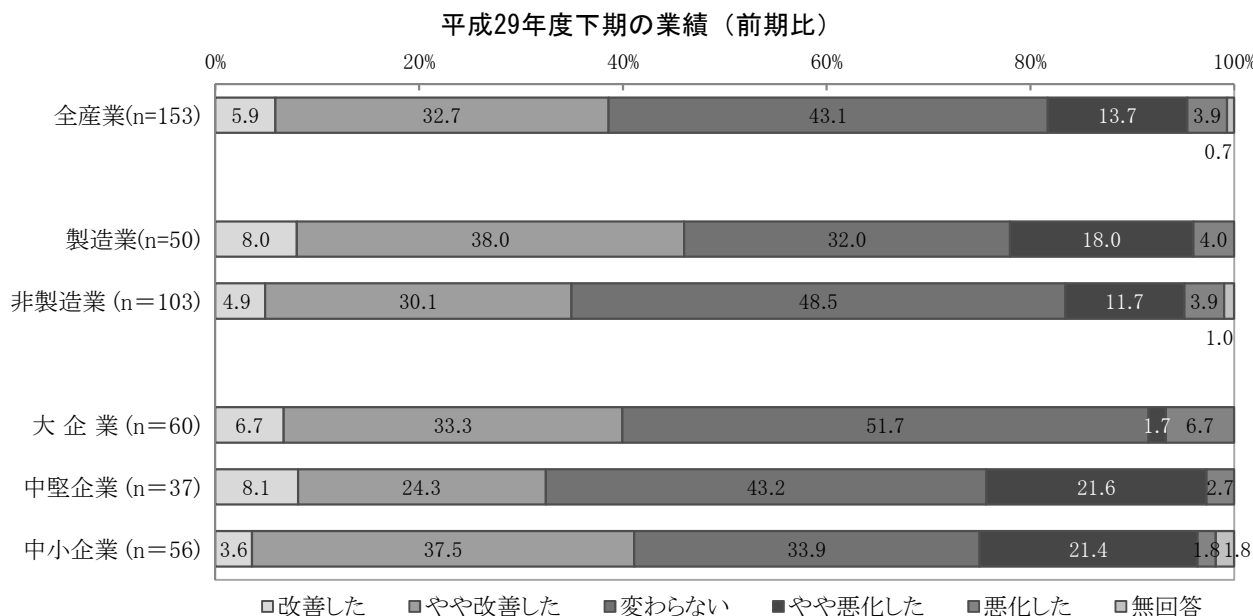
◎その他の具体的な回答

- ・更に下降する
- ・原子力稼働後
- ・分からない
- ・29年30年がピーク
- ・景気回復は見通しづらい
- ・横ばい

II 業績

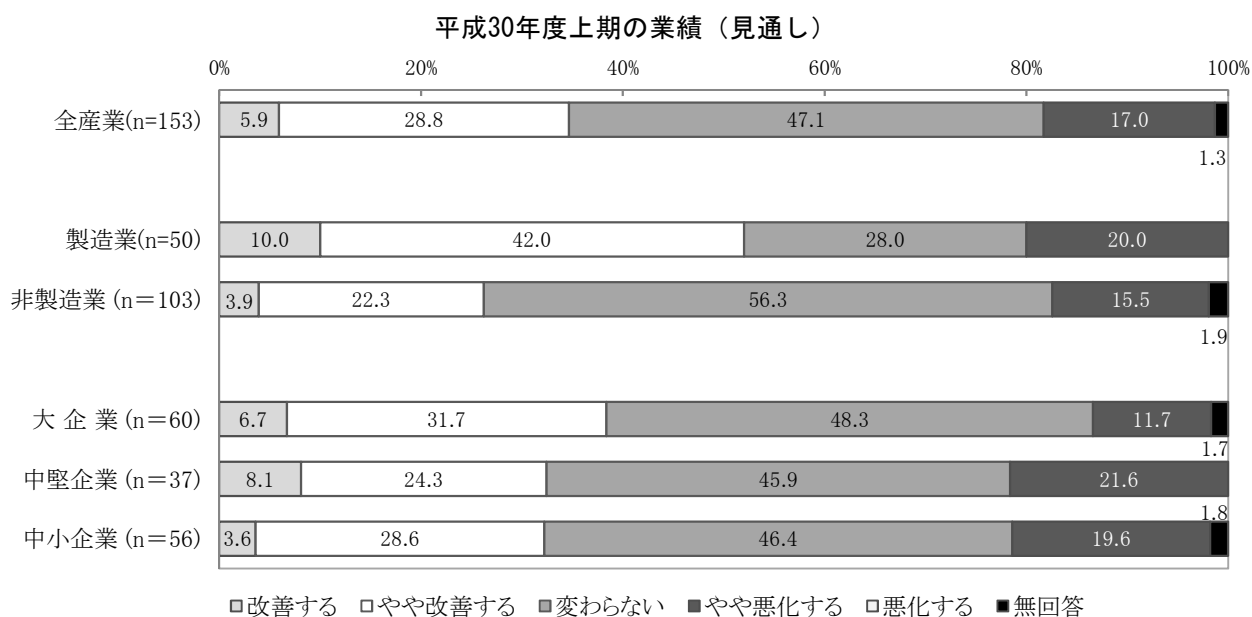
Q.1

貴社の平成29年度下期(10月～3月)の業績は、平成29年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



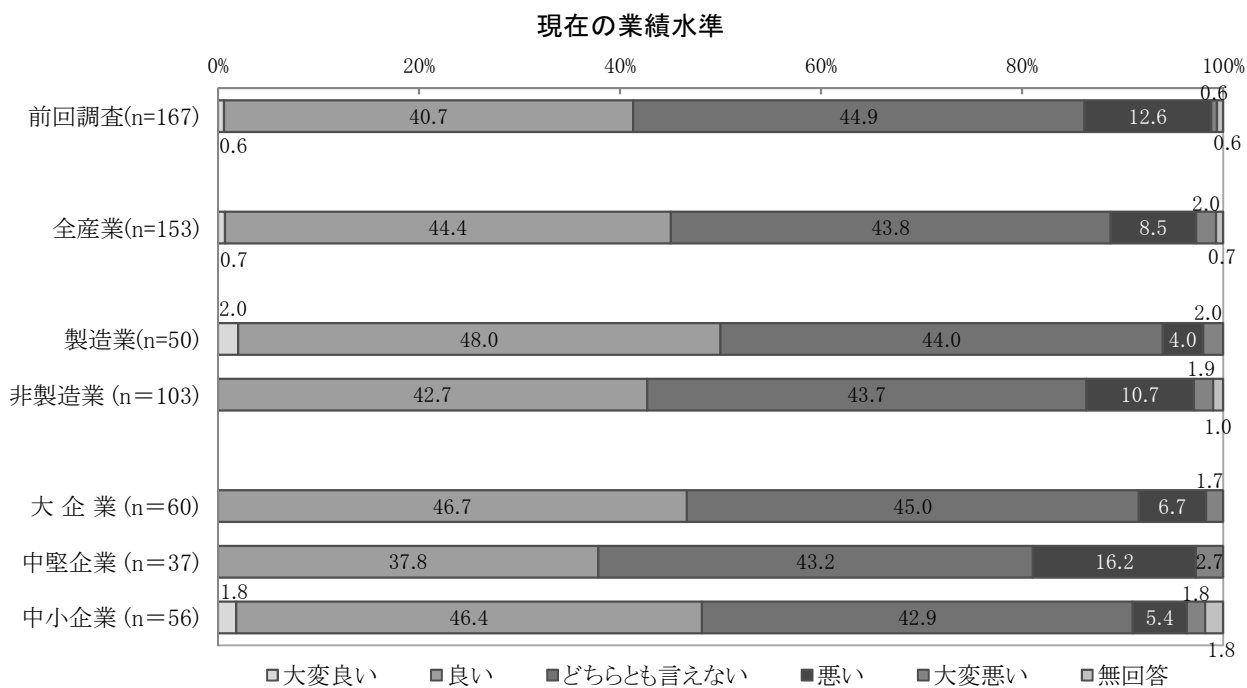
Q.2

貴社の平成30年度上期(4月～9月)の業績は、平成29年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.3

現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。

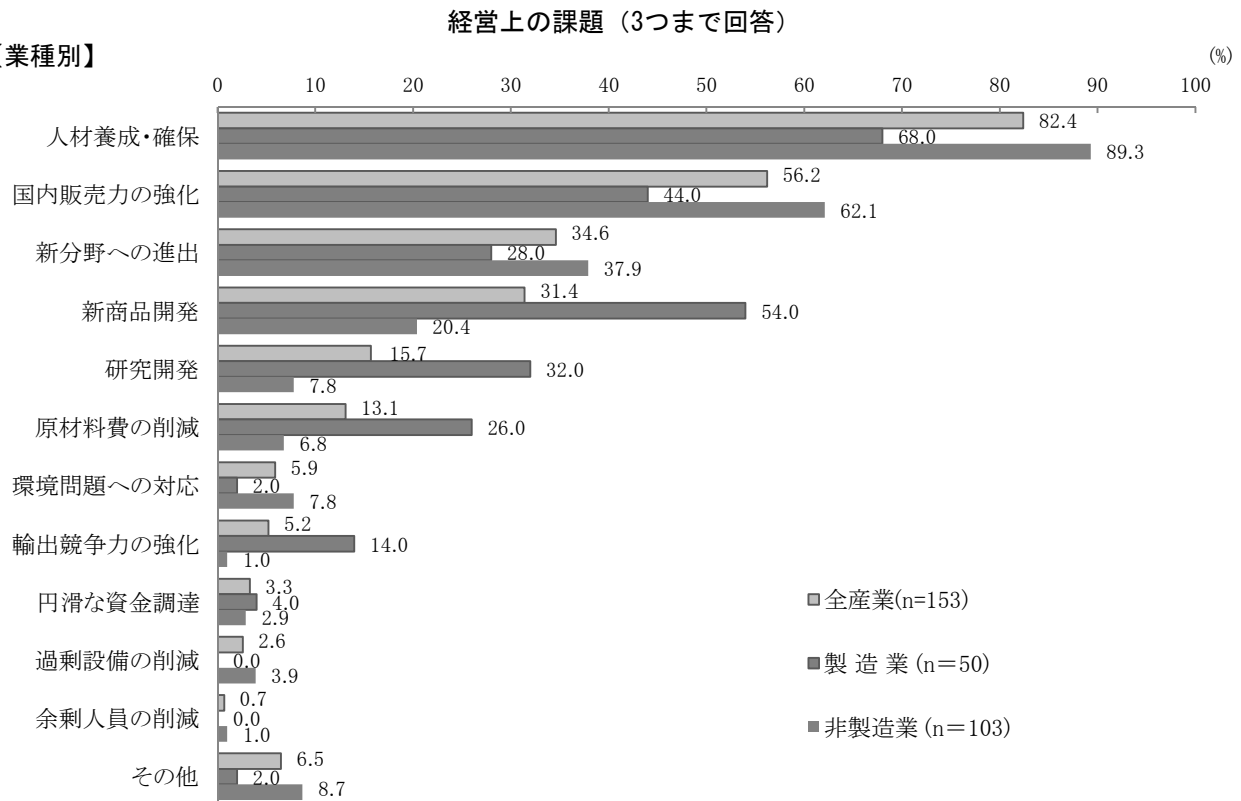


II 業績

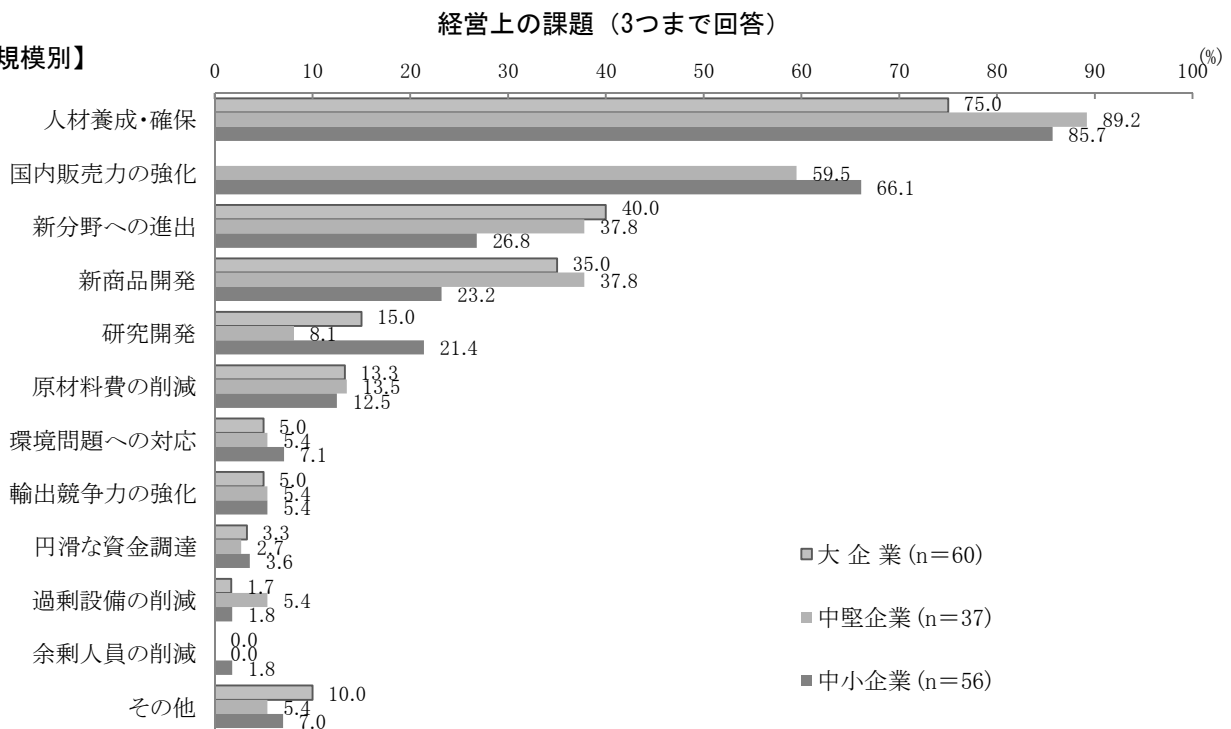
Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)

【業種別】



【規模別】



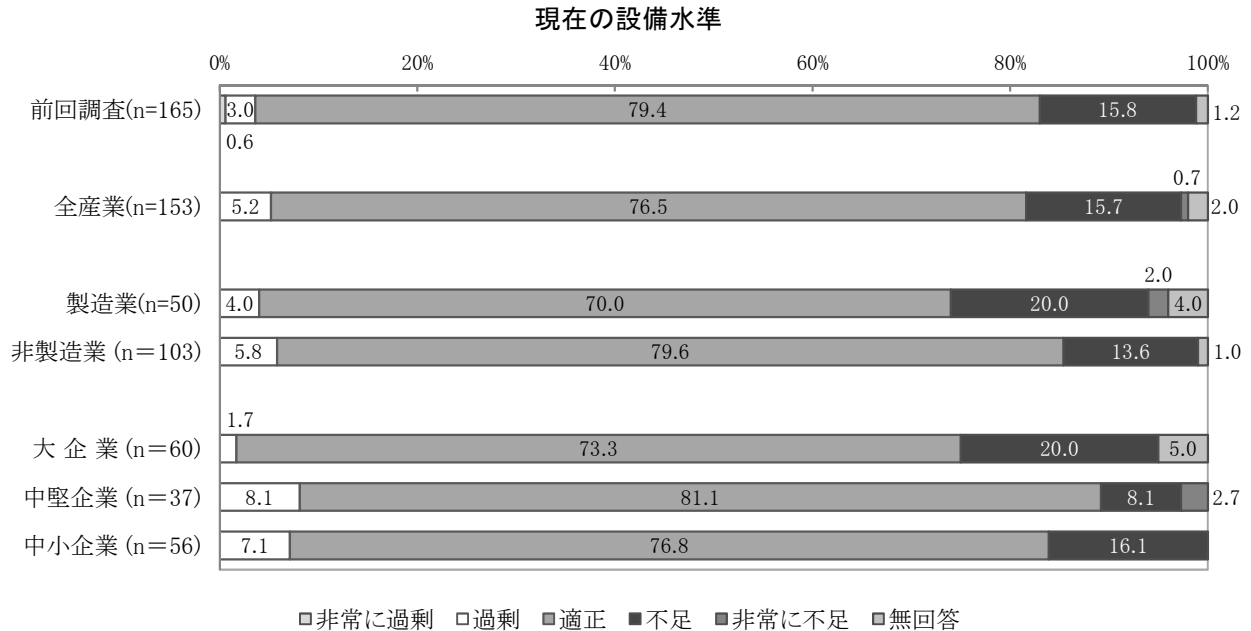
◎その他の具体的な回答

- ・ 新規参入業者による競争激化
- ・ 後継者がいない
- ・ 工事の生産性向上、工期短縮
- ・ 施設更新
- ・ 高齢化対策
- ・ 志賀原子力発電所の早期再稼働
- ・ 海外部門の強化
- ・ お客様本位の業務運営
- ・ 電力料金の値上げ対応
- ・ リレーションシップバンキング(CS)

III 設備投資

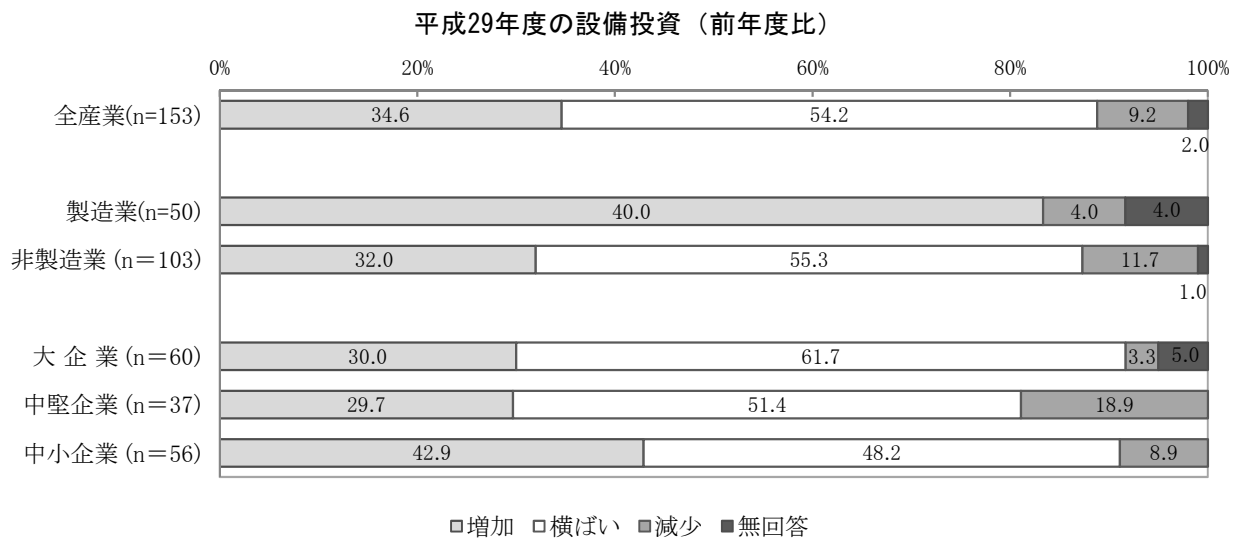
Q.1

貴社の現在の設備水準はどうですか。



Q.2

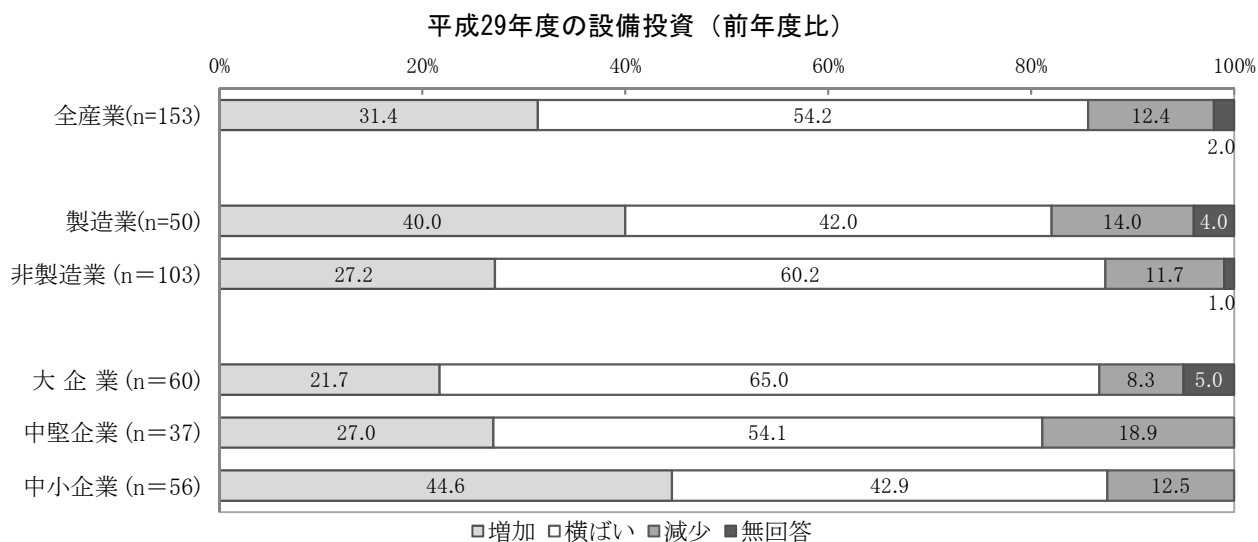
貴社の平成29年度の設備投資は平成28年度に比べ、増加しましたか、減少しましたか。



III 設備投資

Q.3

貴社の平成30年度の設備投資は平成29年度に比べ、増加する見込みですか、減少する見込みですか。

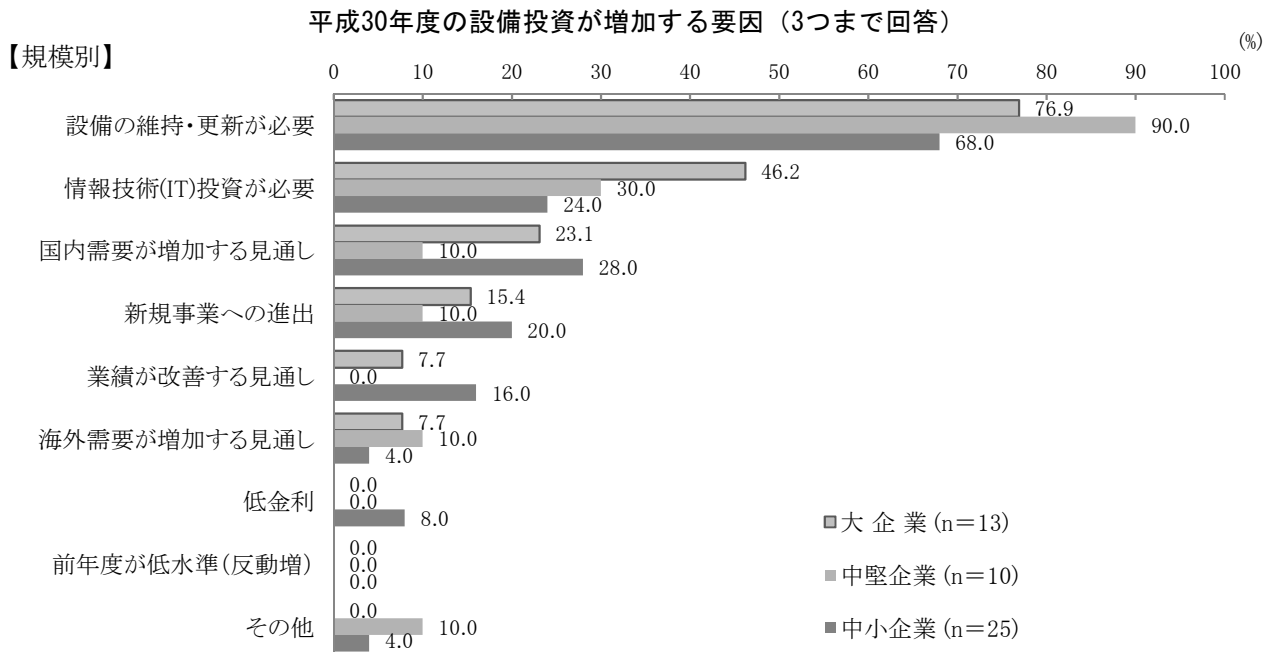
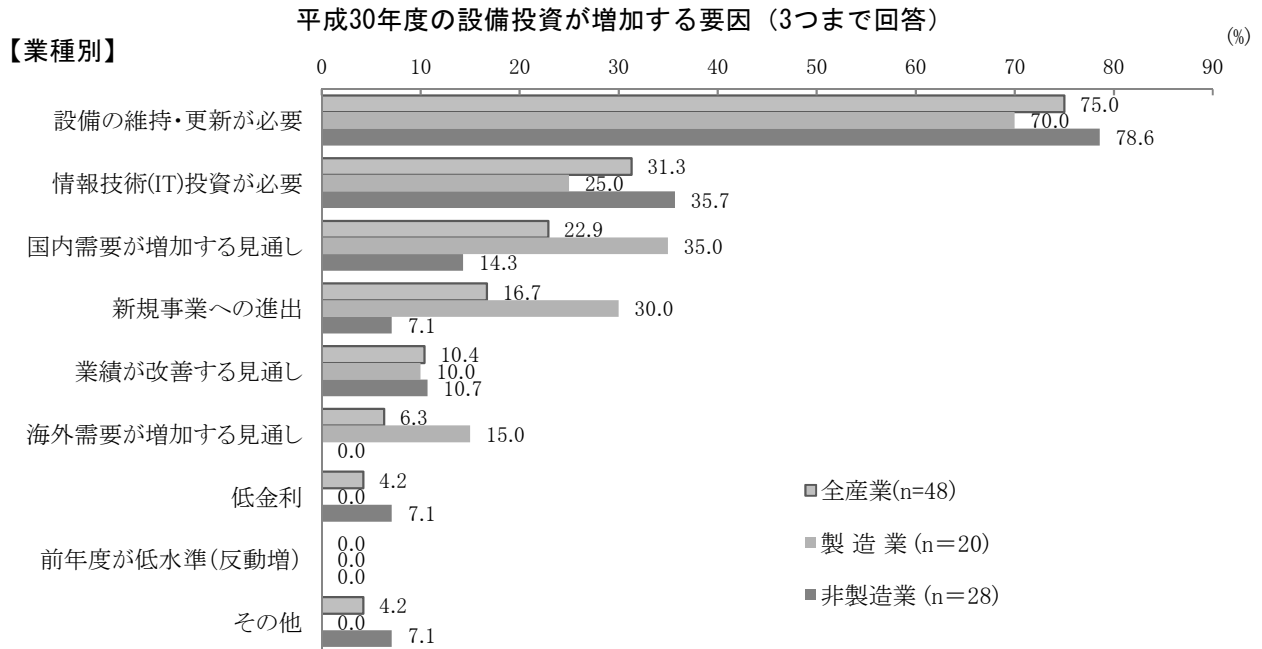


III 設備投資

Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ

平成30年度の設備投資が、平成29年度と比較して増加する要因をお答えください。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

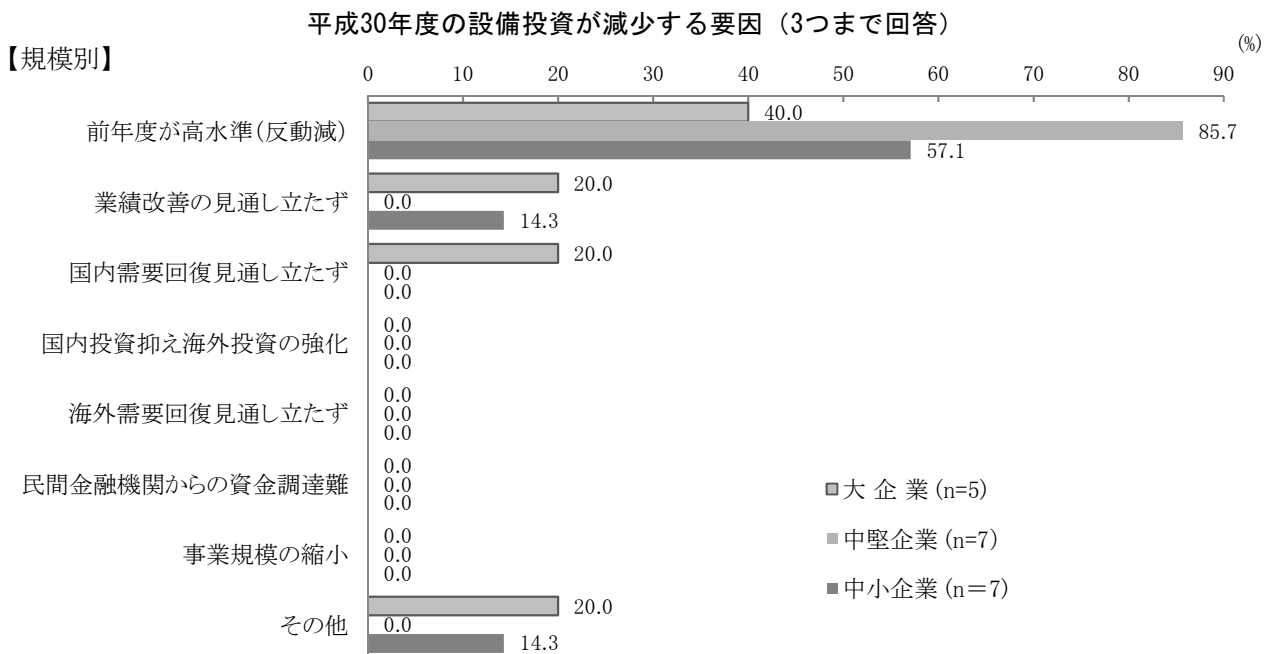
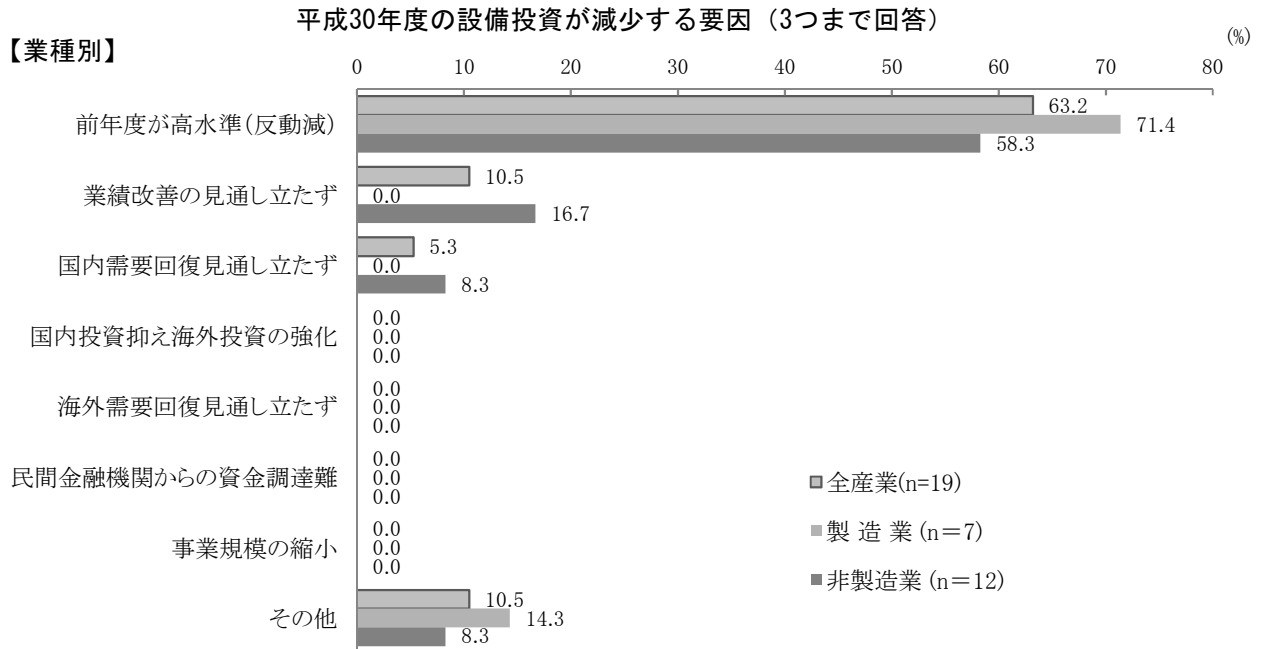
- ・ 新規ビル建設
- ・ 社屋の建築

III 設備投資

Q.5

Q.3で「減少する」と回答された方へ

平成30年度の設備投資が、平成29年度と比較して減少する要因をお答えください。（3つまで回答可）



◎その他の具体的な回答

- ・ 電力料金値上げ及び燃料値上がりに対応する為
- ・ 29年(前年)に大きな設備投資をしたため

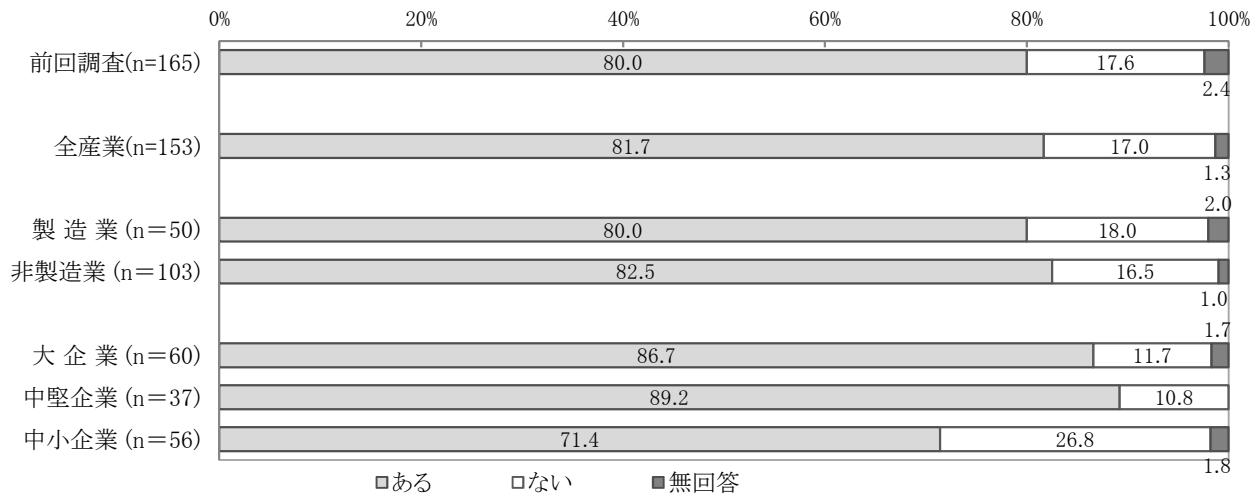
IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きします。

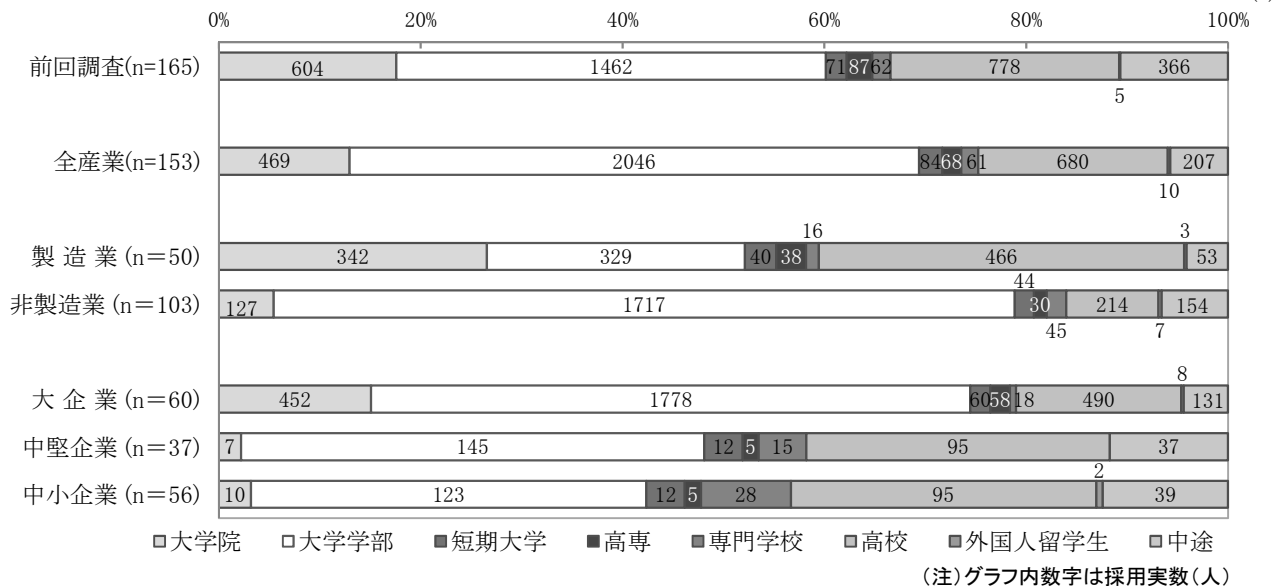
Q.1

2017年度新卒者の採用はございましたか。またその構成及び人数をお聞かせください。

2017年度の採用



採用者の構成及び人数



採用予定人数

【採用人数】	単位:人								
	大学院	大学学部	短期大学	高専	専門学校	高校	外国人留学生	中途	計
全産業	469	2046	84	68	61	680	10	207	3625
製造業	342	329	40	38	16	466	3	53	1287
非製造業	127	1717	44	30	45	214	7	154	2338
大企業	452	1778	60	58	18	490	8	131	2995
中堅企業	7	145	12	5	15	95	0	37	316
中小企業	10	123	12	5	28	95	2	39	314

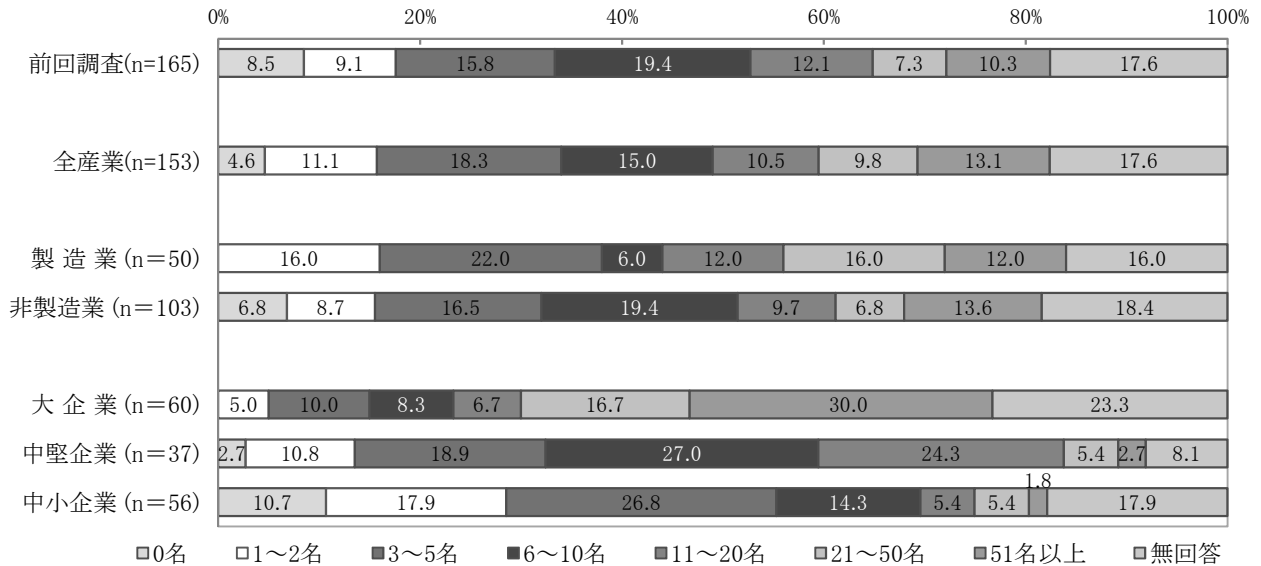
IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

Q.2

2017年度の採用予定(目標)人数は何名でしたか。また充足率をお聞かせください

2017年度新卒者の採用目標



充足率

	9%以下	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%超
前回調査(n=119)	0.8	0.8	2.6	0.8	3.4	5.9	6.7	5.1	10.9	63.0
全産業(n=110)	10.9	0.0	0.9	1.8	1.8	2.7	6.4	4.6	9.1	61.8
製造業(n=40)	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	7.5	62.5
非製造業(n=70)	8.6	0.0	0.0	1.4	1.4	2.9	8.6	5.7	10.0	61.4
大企業(n=40)	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5	2.5	7.5	75.0
中堅企業(n=32)	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	3.1	12.5	6.3	6.3	59.3
中小企業(n=38)	18.4	0.0	0.0	5.3	2.6	0.0	5.3	5.3	13.1	50.0

単位: %

IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きます。

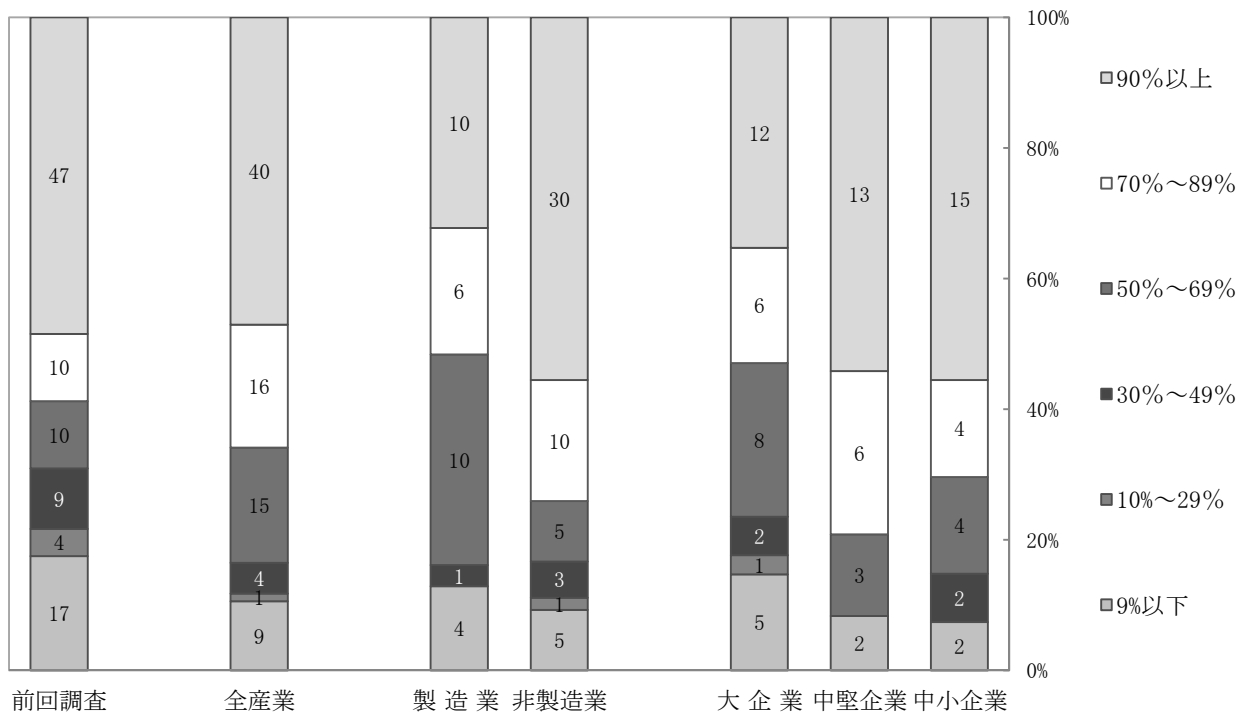
Q.3

Q1のうち北陸出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

採用予定人数（北陸出身者）

【採用人数】	富山県出身			石川県出身			福井県出身			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	48	340	388	23	236	259	21	180	201	92	756	848
製造業	25	91	116	14	72	86	17	37	54	56	200	256
非製造業	23	249	272	9	164	173	4	143	147	36	556	592
大企業	41	225	266	22	134	156	21	150	171	84	509	593
中堅企業	4	65	69	0	58	58	0	20	20	4	143	147
中小企業	3	50	53	1	44	45	0	10	10	4	104	108

北陸出身者比率



(注) グラフ内数字は回答実数(社)

IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きます。

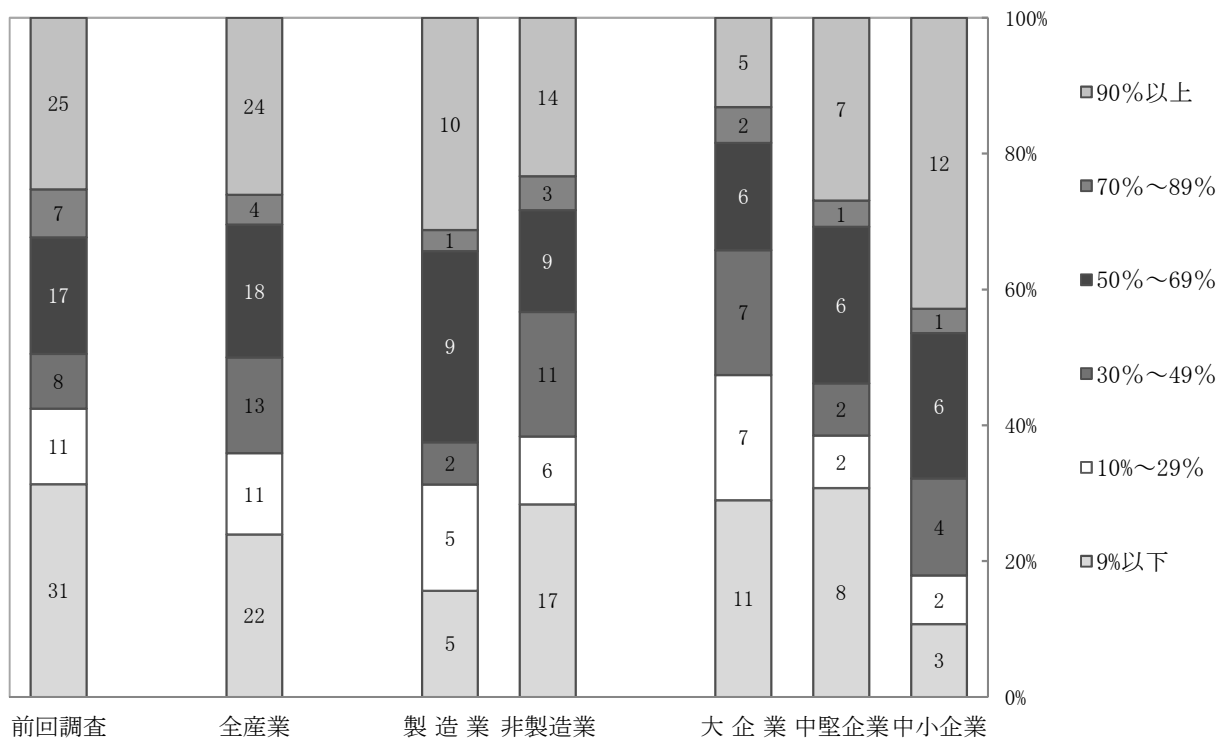
Q.4

Q1のうち北陸地域大学出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

採用予定人数（北陸地域大学出身者）

【採用人数】	富山県内大学			石川県内大学			福井県内大学			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	32	154	186	34	203	237	12	57	69	78	414	492
製造業	23	66	89	22	66	88	7	16	23	52	148	200
非製造業	9	88	97	12	137	149	5	41	46	26	266	292
大企業	27	93	120	33	108	141	12	46	58	72	247	319
中堅企業	3	35	38	0	52	52	0	7	7	3	94	97
中小企業	2	26	28	1	43	44	0	4	4	3	73	76

北陸地域大学出身者比率



(注) グラフ内数字は回答実数(社)

IV その他

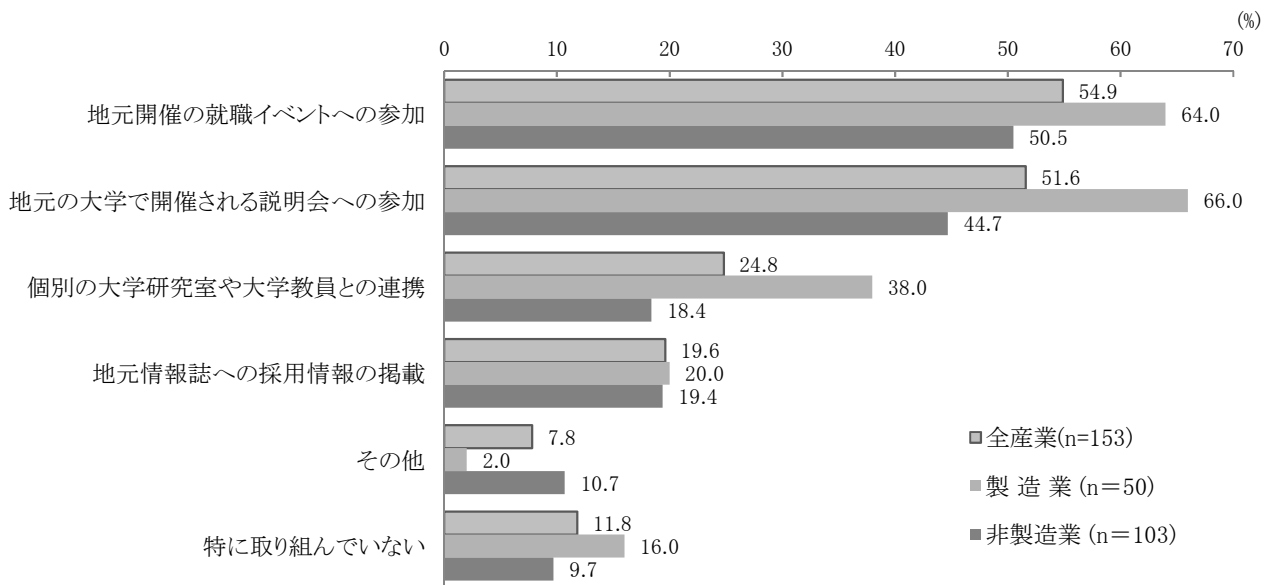
1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

Q.5

採用選考にあたり、地元(北陸出身者、北陸地域大学出身者)からの採用のために、どのようなことを重視して取り組んでいますか。(複数回答可)

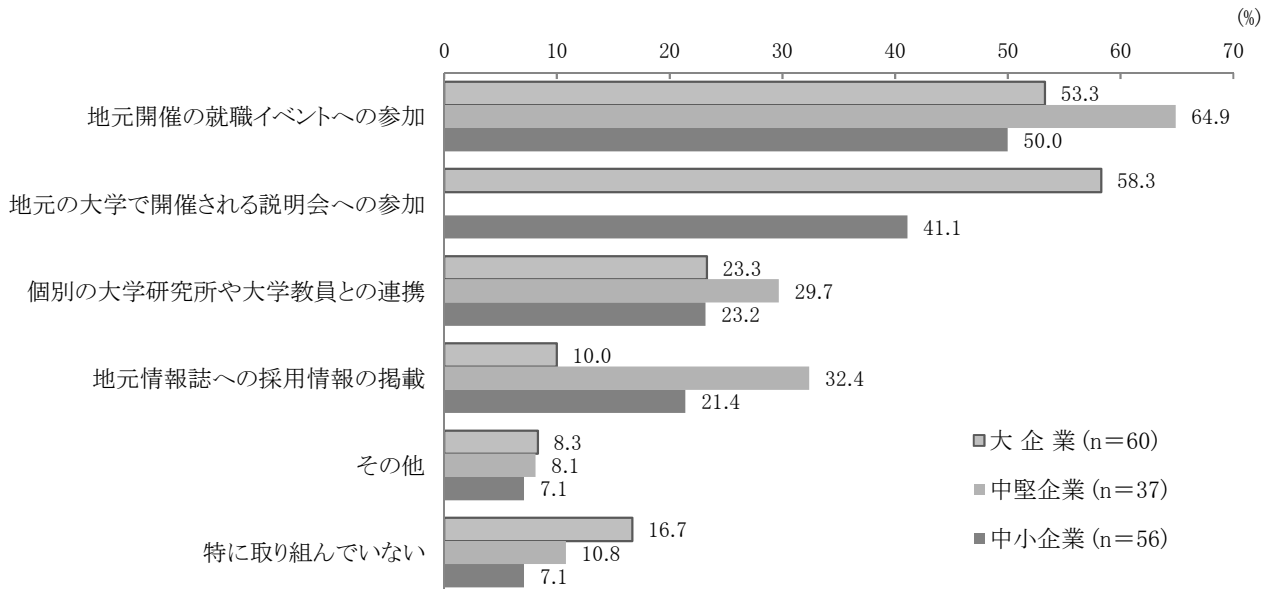
地元からの採用のために重視して取り組んでいること

【業種別】



地元からの採用のために重視して取り組んでいること

【規模別】



◎その他の具体的な回答

- ・ 自社Webサイト
- ・ インターンシップ実施
- ・ 当社社員の出身校へのアプローチ
- ・ 就職Webサイトの活用
- ・ 現場見学会の開催
- ・ 地元大学での単独会社説明会を開催
- ・ 自社HP、職安、各大学へ募集資料送付
- ・ 北陸では高卒のみ採用のため、高校の挨拶まわり

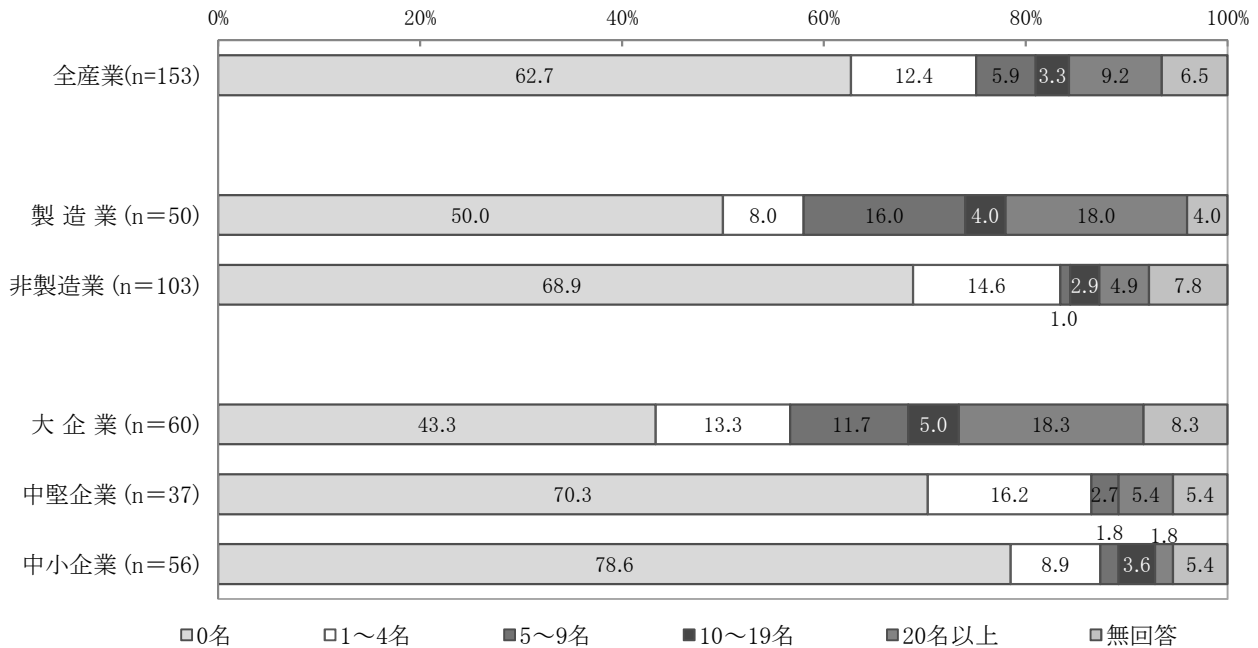
IV その他

2. 貴社の外国人活用状況についてお聞きます。

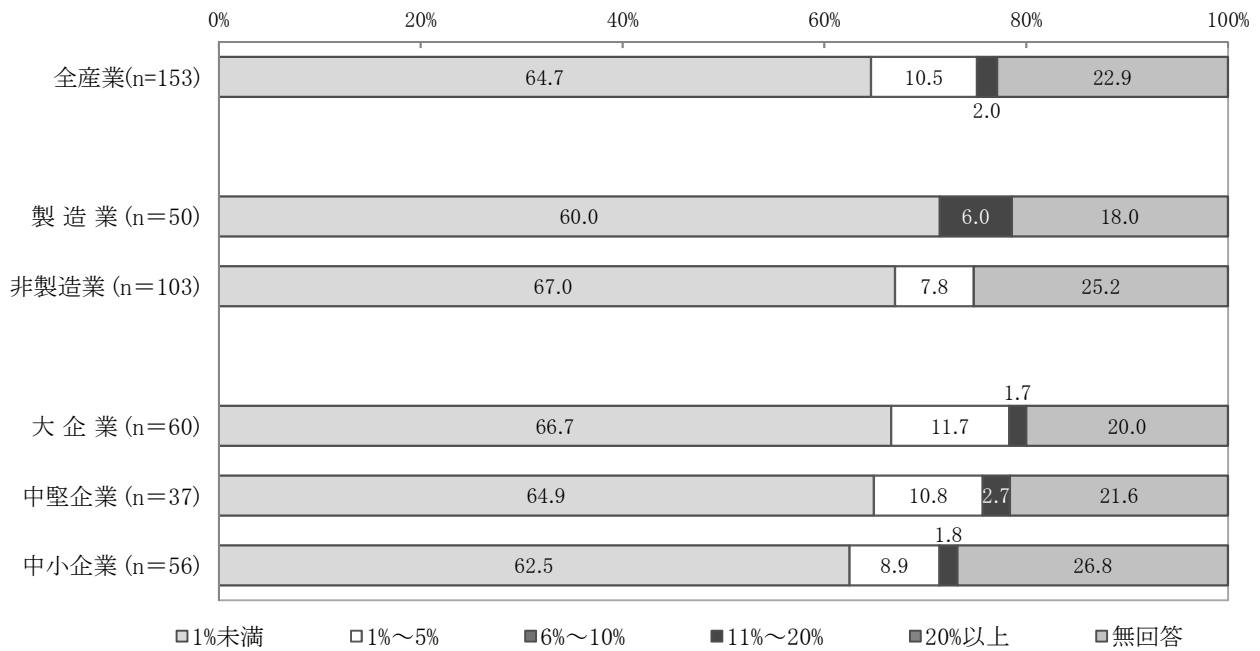
Q.1

外国人従業員の人数をお聞かせください。

外国人従業員の人数



全従業員に占める外国人従業員の比率

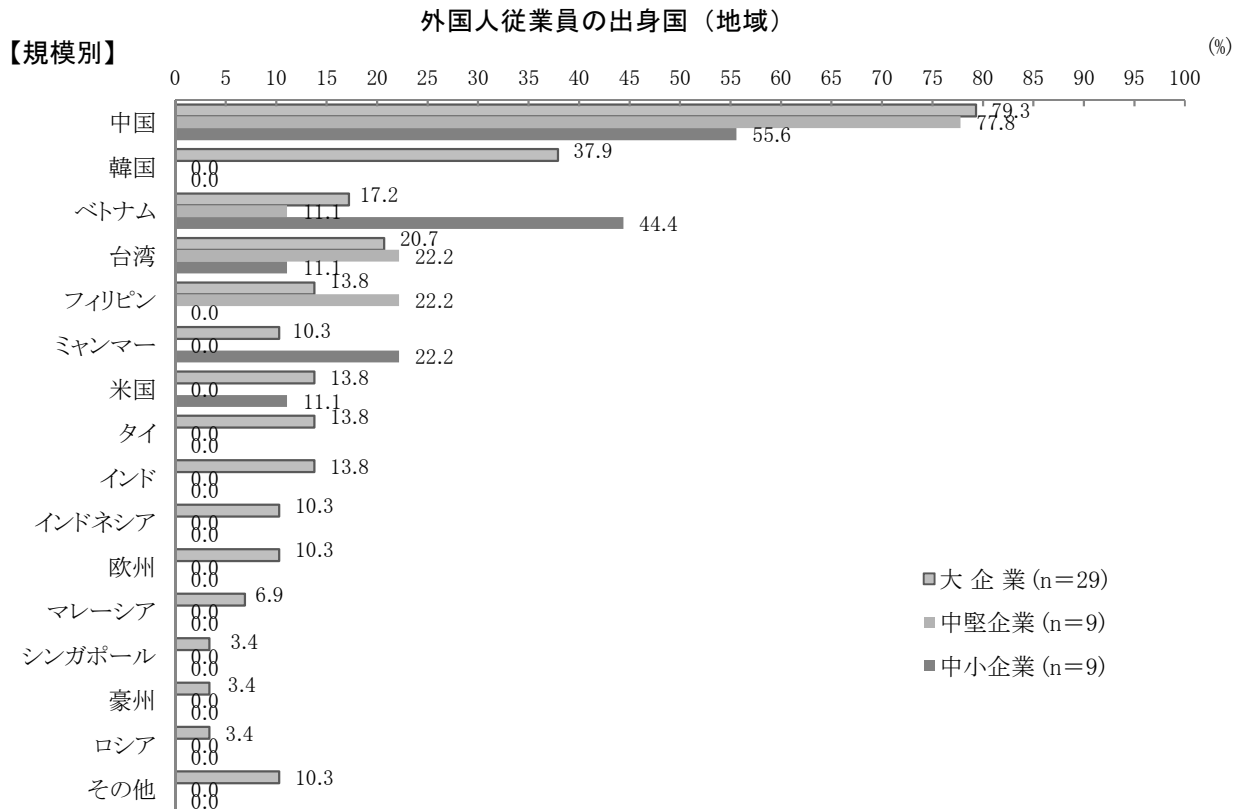
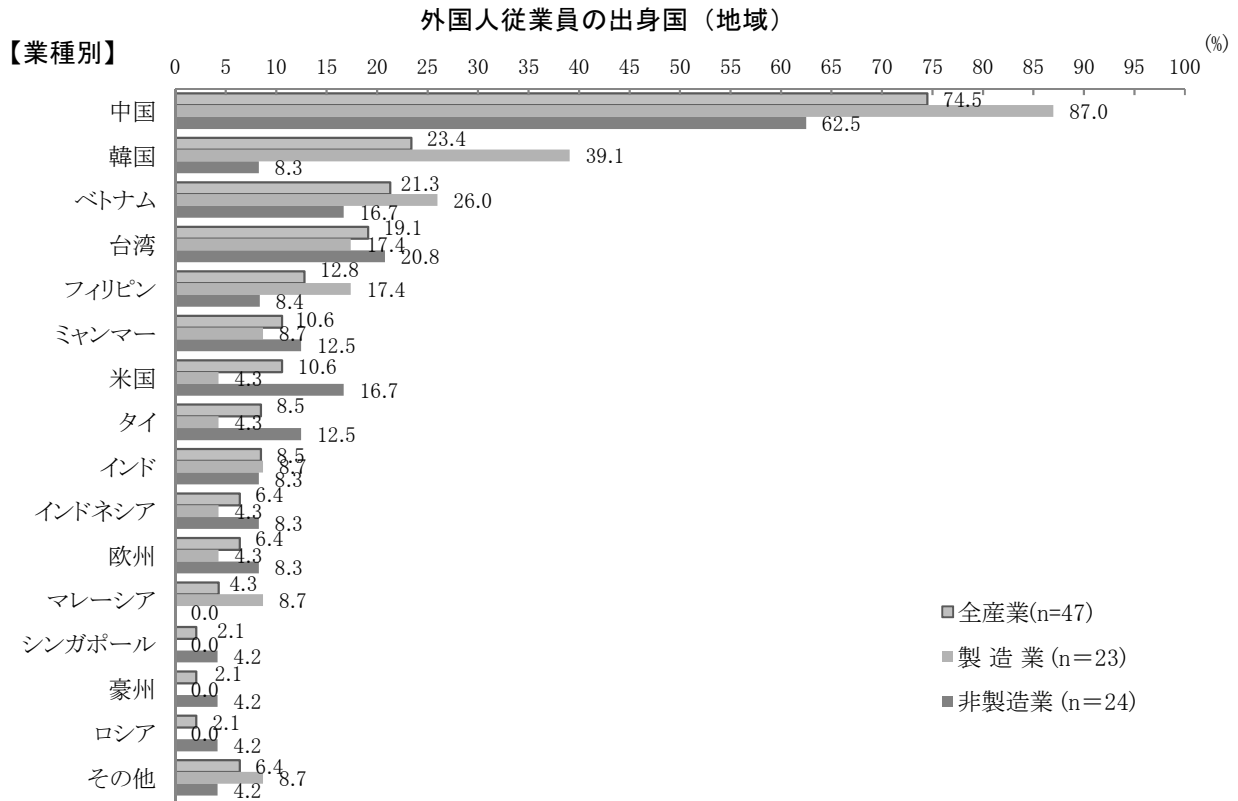


IV その他

2. 貴社の外国人活用状況についてお聞きます。

Q.2

前問Q1で②～⑤とお答えになった方へ
外国人従業員の出身国(地域)をお聞かせください。(複数回答可)



IV その他

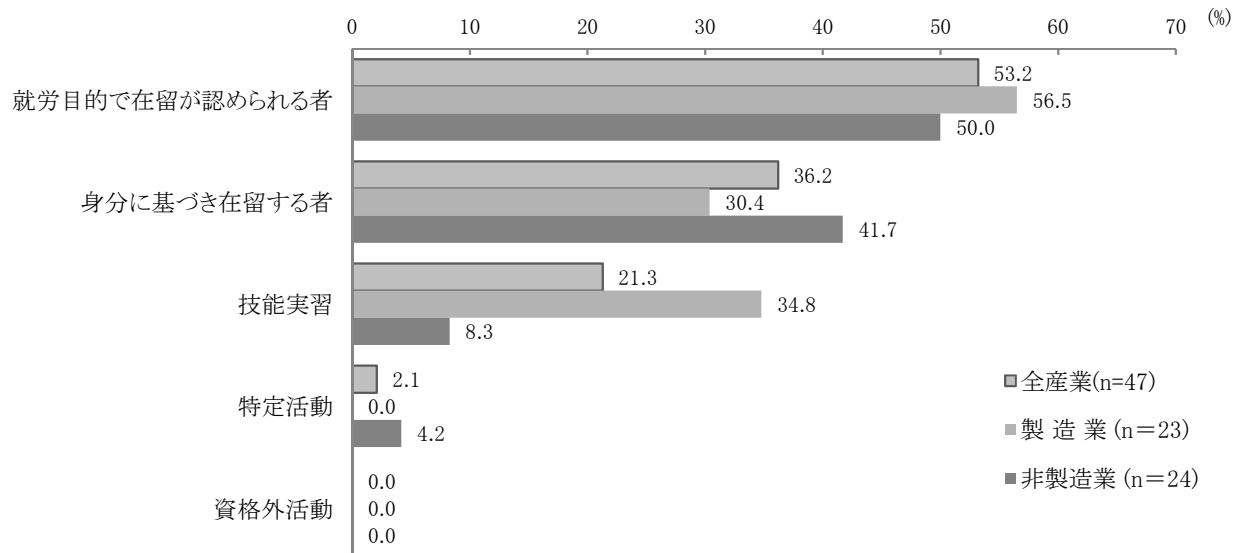
2. 貴社の外国人活用状況についてお聞きします。

Q.3

前問Q1で②～⑤とお答えになった方へ
外国人従業員の主な在留資格をお聞かせください。

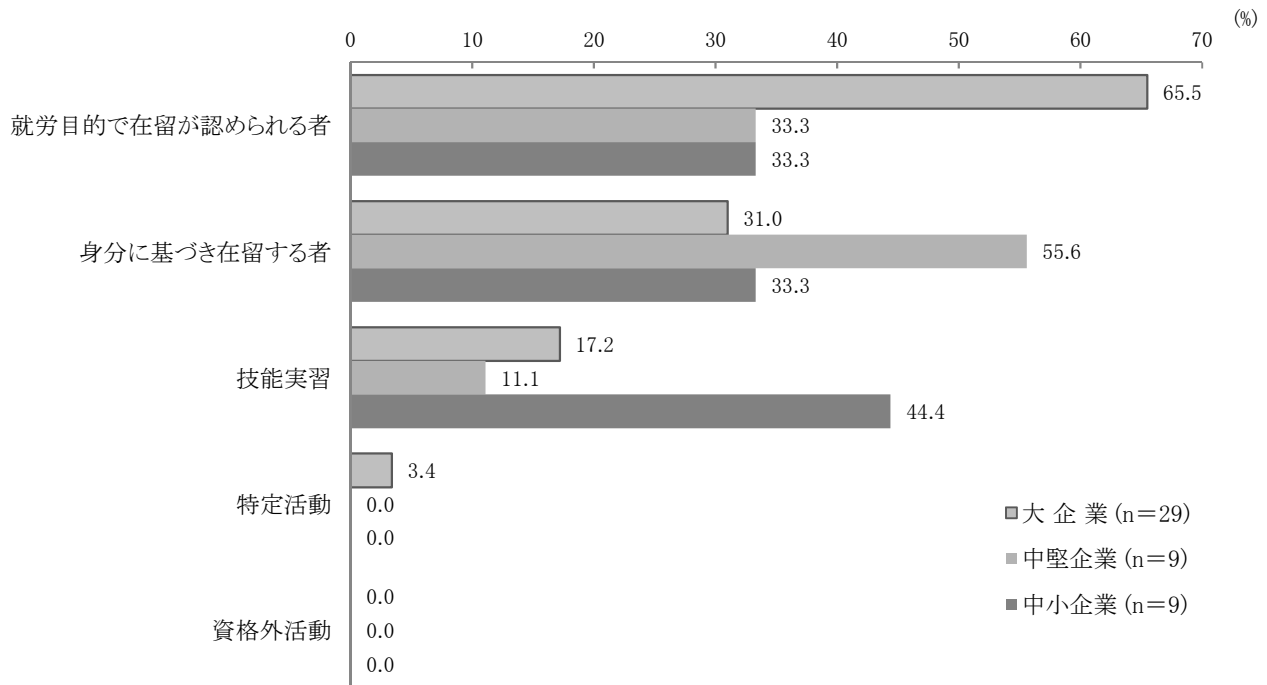
外国人従業員の主な在留資格

【業種別】



外国人従業員の主な在留資格

【規模別】



就労目的で在留が認められる者：いわゆる「専門的・技術的分野」に該当する在留資格

身分に基づき在留する者：「定住者」、「永住者」、「日本人の配偶者等」等

技能実習：外国人技能実習制度に基づく技能実習生

特定活動：EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者、ワーキングホリデー、外国人建設就労者、外国人造船就労者等

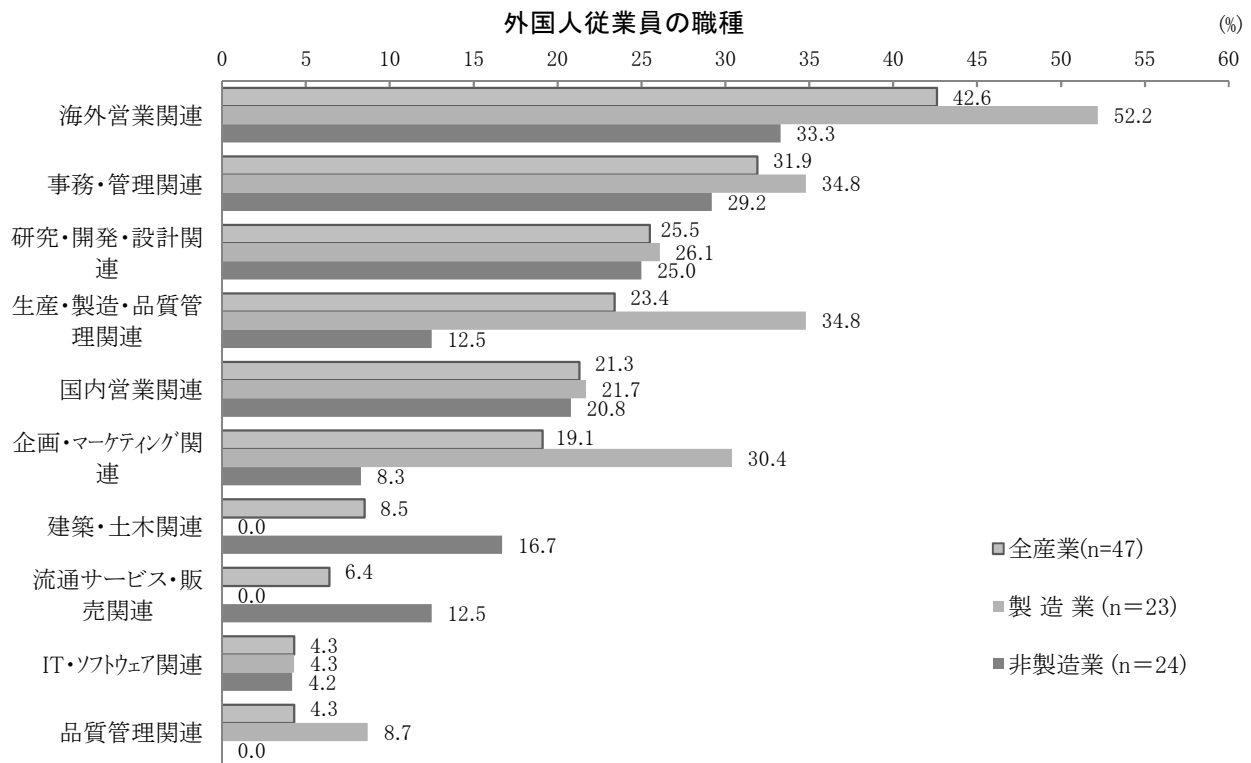
資格外活動：本来の在留資格の活動を阻害しない範囲内で就労する者(留学生のアルバイト等)

IV その他

2. 貴社の外国人活用状況に関してお聞きします。

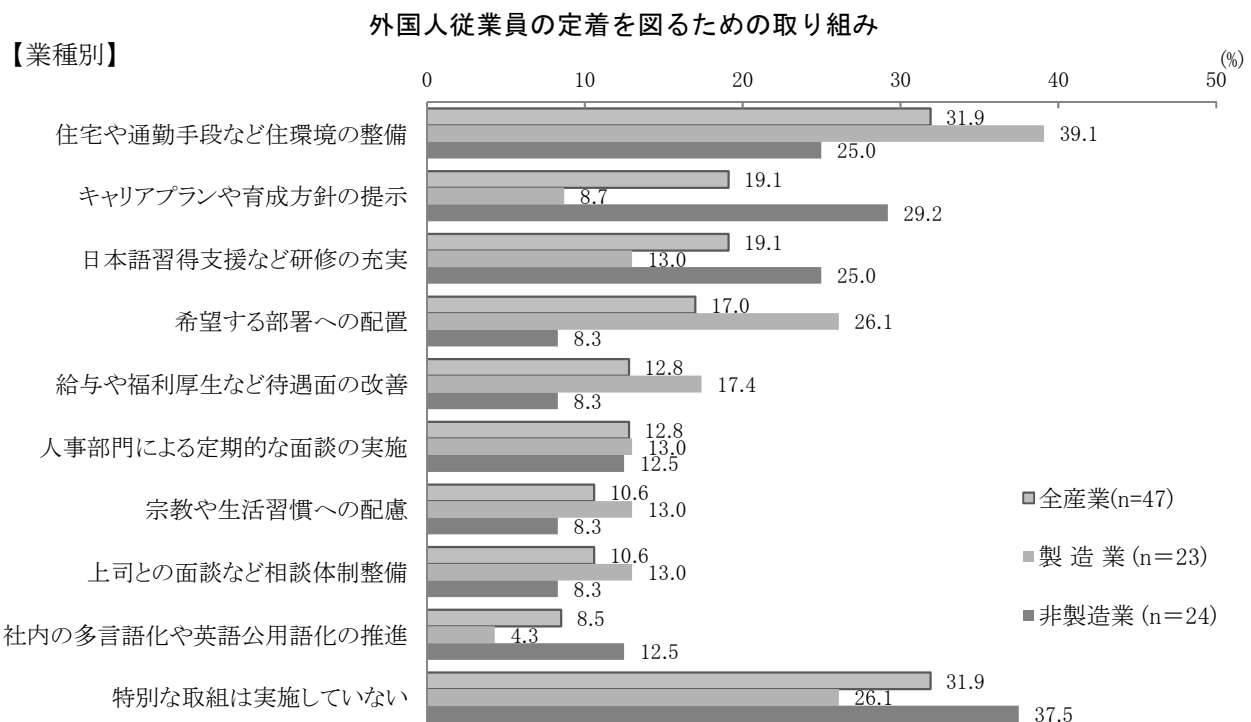
Q.4

前問Q1で②～⑤とお答えになった方へ
外国人従業員の職種をお聞かせください。（複数回答可）



Q.5

外国人従業員の定着を図るための取り組みをお聞かせください。（複数回答可）



IV その他

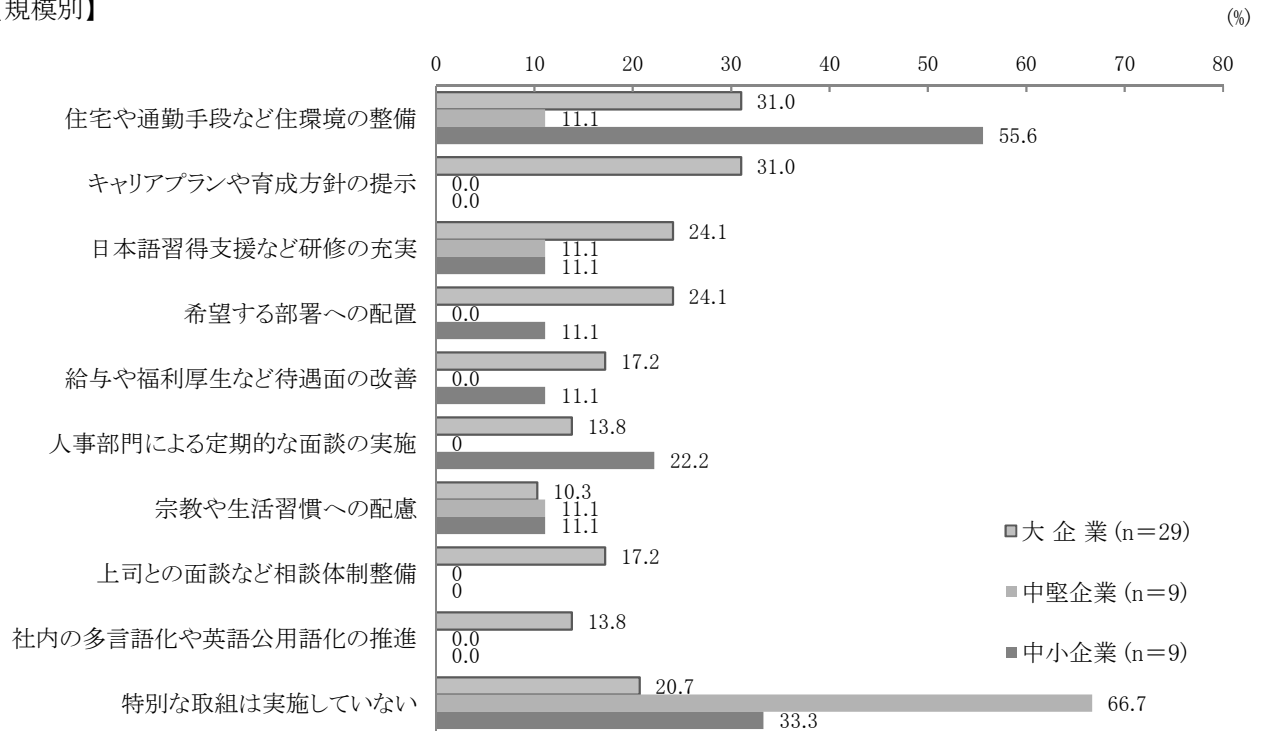
2. 貴社の外国人活用状況についてお聞きします。

Q.5

外国人従業員の定着を図るための取り組みをお聞かせください。(複数回答可)

外国人従業員の定着を図るための取り組み

【規模別】

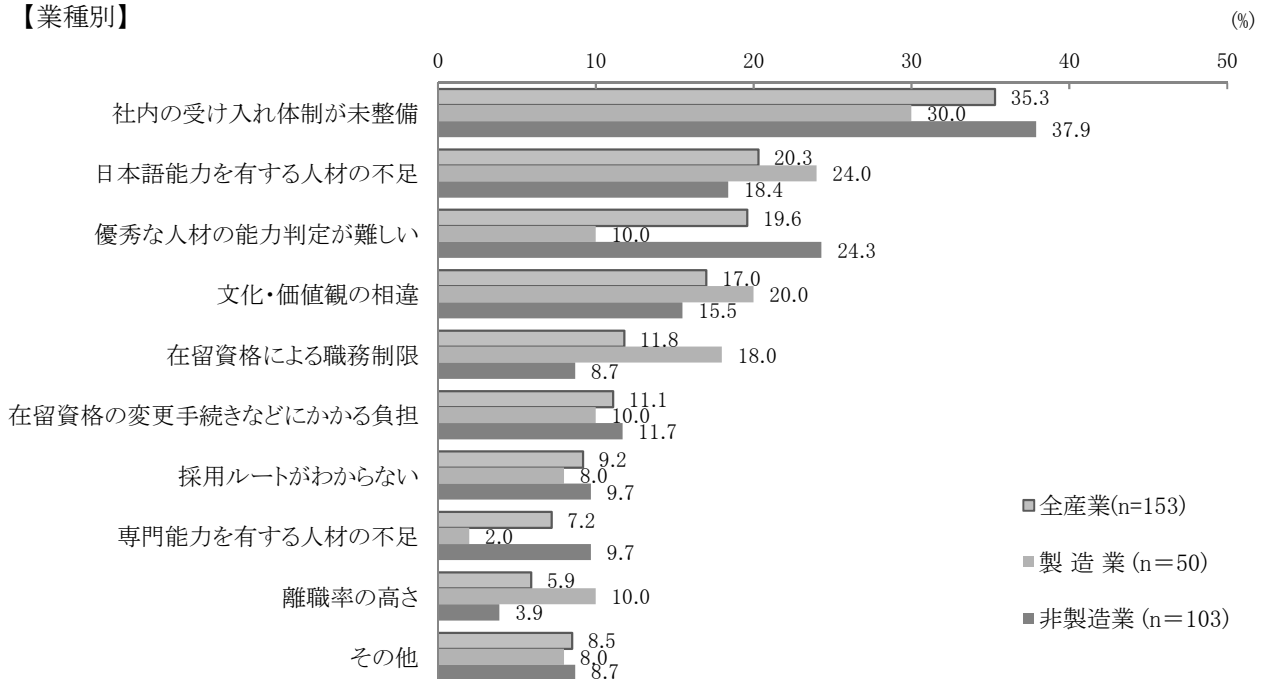


Q.6

外国人の採用・活用に当たっての障壁・課題をお聞かせください。

外国人の採用活動における障壁・課題

【業種別】



IV その他

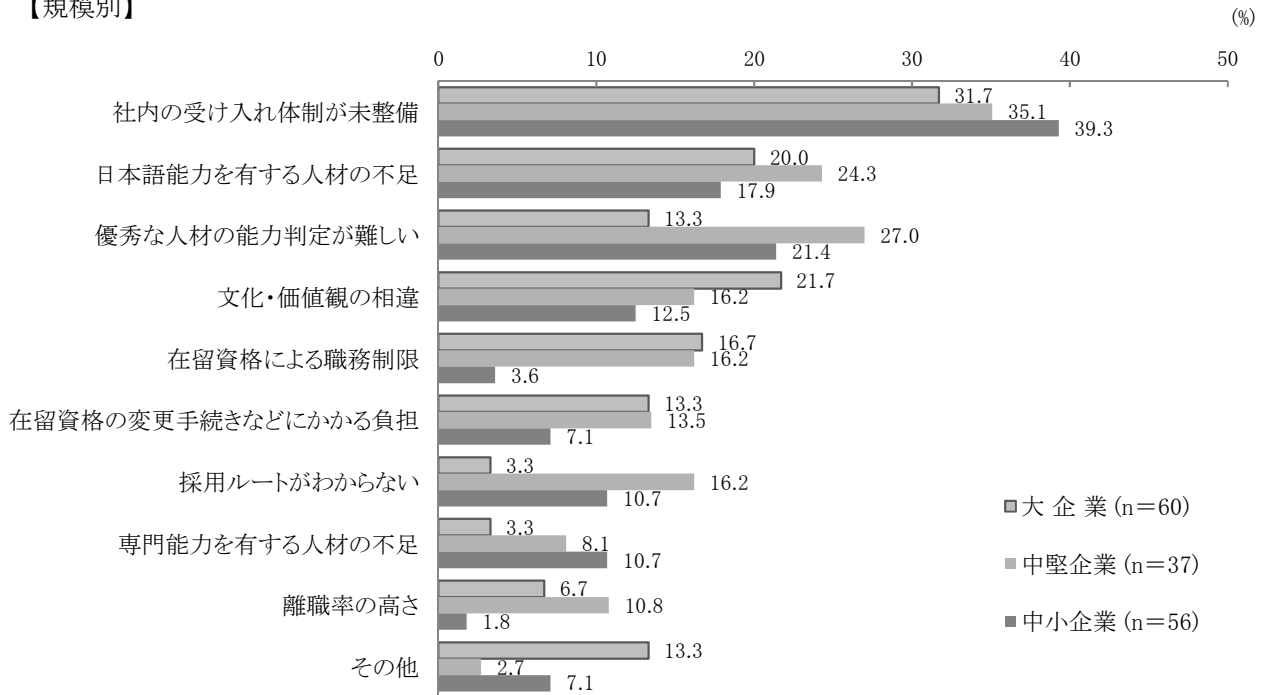
2. 貴社の外国人活用状況に関してお聞きます。

Q.6

外国人の採用・活用に当たっての障壁・課題をお聞かせください。

外国人の採用活動における障壁・課題

【規模別】



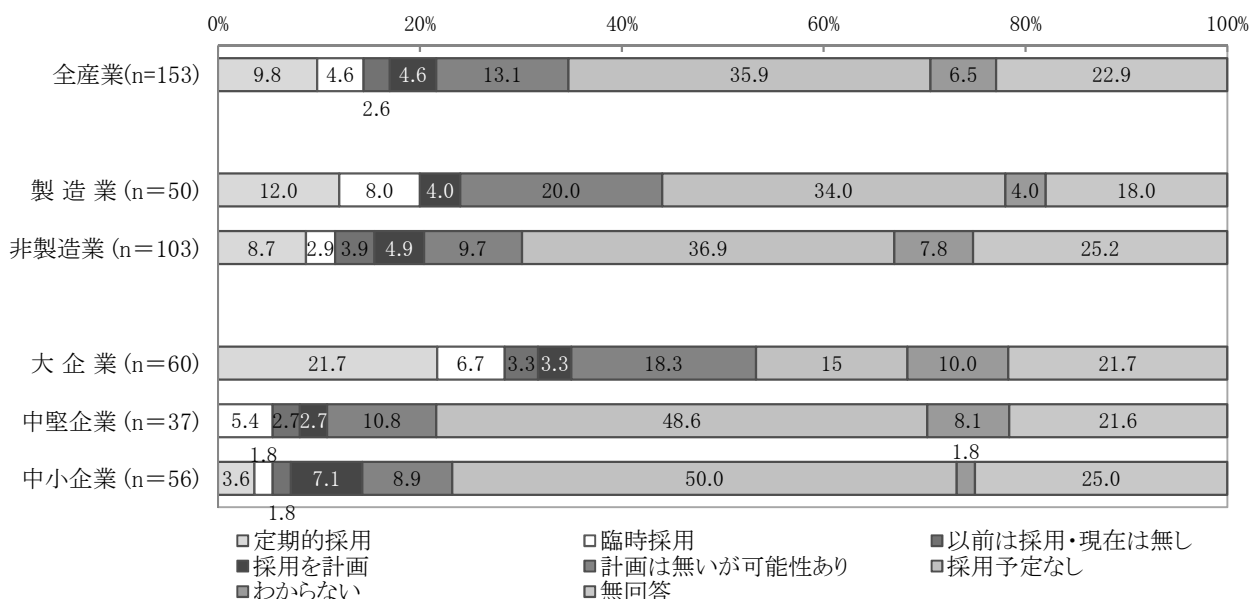
◎その他の具体的な回答

- ・ 採用予定なし
- ・ 特に無し
- ・ 給与
- ・ 情報漏洩
- ・ 地元密着型の採用をしたい

Q.7

外国人留学生の採用状況をお聞かせください。

外国人留学生の採用状況

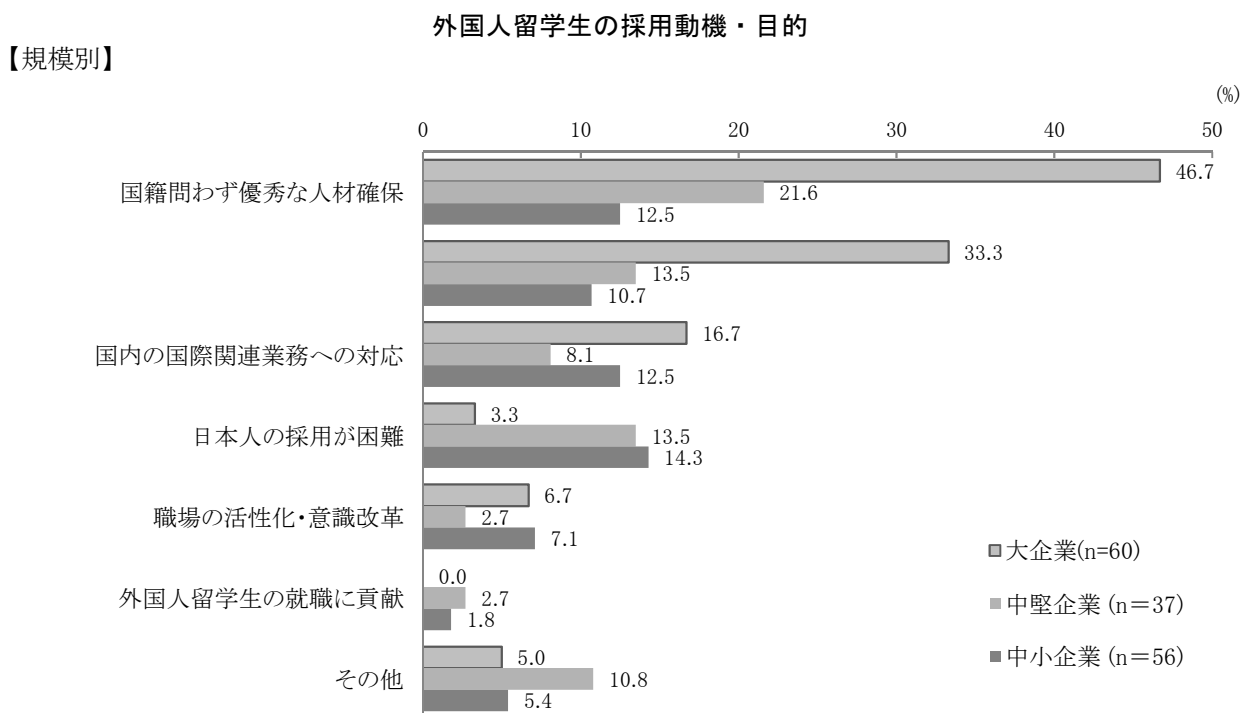
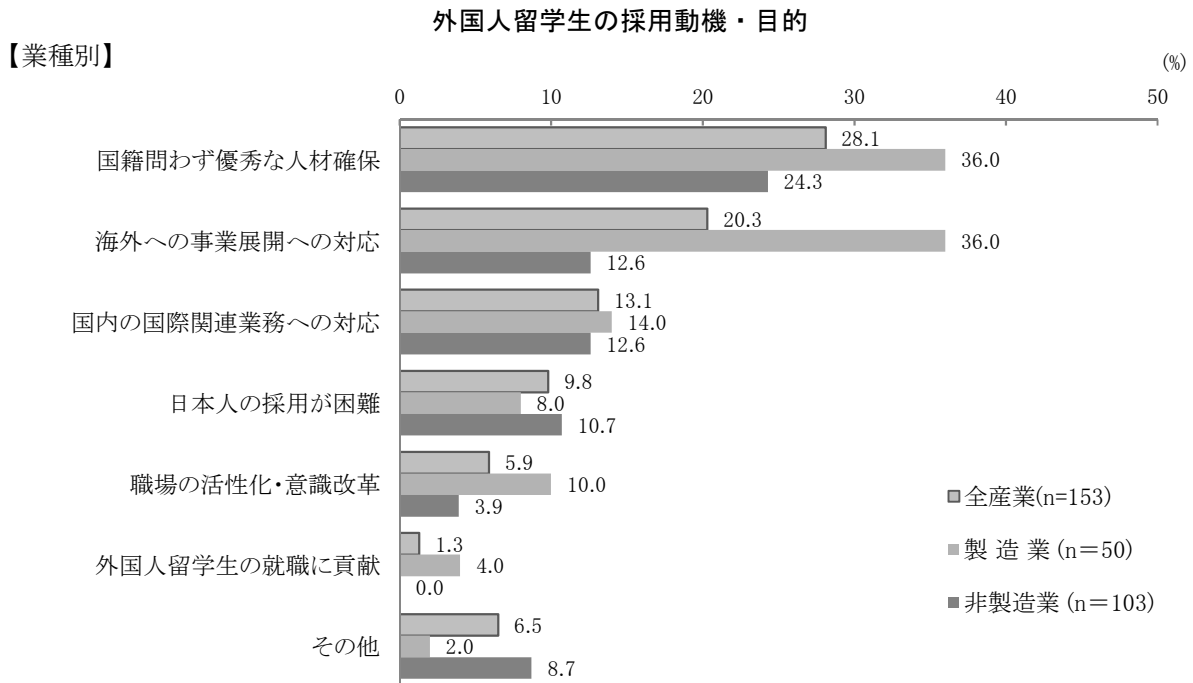


IV その他

2. 貴社の外国人活用状況に関してお聞きます。

Q.8

外国人留学生の採用動機・目的についてお聞きます。(複数回答可)



◎その他の具体的な回答

- ・ 採用予定なし
- ・ 今のところ技能を生かす職場がない
- ・ 外国人留学生の枠を設けているわけではないため、外国人留学生に特化した動機・目的はない
- ・ 国内の販路で今のところ外国人の雇用は考えていない



はじめよう、北陸サクセス。

平成30年4月発行

北陸経済連合会

HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail info@hokkeiren.gr.jp

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 facebook

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>